

平成27年度  
文化に関する意識調査  
(概要版)

静岡県

## 目次

I 調査概要	3
1 調査目的	3
2 調査内容	3
3 調査方法	3
4 回収結果	3
5 報告書を読む際の留意点	3
6 年代別補正	4
7 回答者の属性	4
II 設問別の結果	5
1 文化・芸術の鑑賞について	5
1-1 メディアによる鑑賞機会	5
1-2 メディアによる鑑賞内容	6
1-3 メディアによる鑑賞への月間支出額	8
1-4 直接鑑賞機会	9
1-5 直接鑑賞した内容	10
1-6 直接鑑賞への1公演平均支出額	12
1-7 直接鑑賞しなかった理由	14
1-8 今後直接鑑賞したい内容	16
1-9 鑑賞情報の入手媒体	18
1-10 鑑賞のために出かけたと思う地域の範囲	20
2 文化・芸術の活動について	21
2-1 活動機会の有無	21
2-2 活動内容	22
2-3 活動への月間支出額	24
2-4 活動しなかった理由	26
2-5 活動の情報入手媒体	28
2-6 今後活動したい内容	30
2-7 活動による効果・影響	32
3 静岡県の文化施設等について	33
3-1 「静岡県立美術館」への期待	33
3-2 「グランシップ」の利用経験	35
3-3 「グランシップ」の未利用理由	36
3-4 「グランシップ」への期待	37
3-5 「公益財団法人静岡県舞台芸術センター（以下、SPAC）」の認知度	39
3-6 「SPAC」の鑑賞経験	40
3-7 「SPAC」への期待	41
3-8 「SPAC」を鑑賞しない理由	42
3-9 「SPAC」海外公演への意見	43
3-10 ふじのくに地球環境史ミュージアムの認知度	44

4	静岡県の文化振興について.....	45
4-1	文化に期待するもの.....	45
4-2	地域の誇りだと感じられる文化資源の有無.....	47
4-3	地域の誇りだと感じられる文化資源.....	48
4-4	文化・芸術の子どもへの提供.....	49
4-5	災害発生後の文化の役割の有無.....	51
4-6	災害発生後の文化の役割.....	52
4-7	オリンピック・パラリンピック「文化プログラム」の認知度.....	53
4-8	支援活動参加の有無.....	54
4-9	支援活動の内容.....	55
4-10	支援活動参加理由.....	57
4-11	支援活動参加希望の有無.....	58
4-12	参加したい支援活動.....	59

# I 調査概要

## 1 調査目的

静岡県民が文化に関してどのように感じ、文化の振興にどのような意見を持っているのかを把握するとともに、過去の調査結果と今回（平成27年度実施）の調査結果とを比較することで、文化活動や意識についての経年的な変化を把握し、今後の文化振興を進めて行く上での参考資料とする。

## 2 調査内容

- ①最近1年間の文化に関する活動や参加状況について
- ②文化に関する意識、イメージについて
- ③静岡県の文化振興の現状と今後の方向性などについて

## 3 調査方法

- ①調査地区 静岡県全域
- ②調査対象 静岡県在住の20歳以上の男女個人
- ③対象者数 2,000人
- ④抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤調査方法 郵送調査法（郵送配布 — 郵送回収）
- ⑥調査時期 平成28年2月

## 4 回収結果

有効回収数 764件  
有効回収率 38.2%

## 5 報告書を読む際の留意点

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため比率の合計が100%にならないことがある。
- ②複数回答が可能な設問については、比率の合計は100%を超えることがある。
- ③本文中の設問の選択肢については、長文項目は簡略化した箇所がある。
- ④図表中の件数の単位はすべて「人」である。

## 6 年代別補正

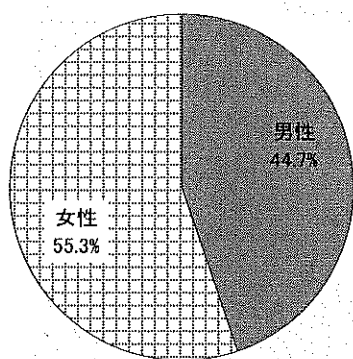
アンケート回収結果の比率については、静岡県全体の年代別人口（母集団）からの偏りを補正計算して調査結果としている。件数は回答件数としている。

静岡県全体の年代別人口(※1)		回収		補正後
		数	割合(%)	割合(%)
20～29歳	368,852	54	7.1	12.0
30～39歳	517,498	87	11.4	16.9
40～49歳	489,398	125	16.4	16.0
50～59歳	493,555	137	17.9	16.1
60～69歳	552,618	199	26.0	18.0
70歳以上	640,772	162	21.2	20.9
合計	3,062,693	764	100.0	100.0

※1 平成22年国勢調査人口等基本集計（総務省統計局）

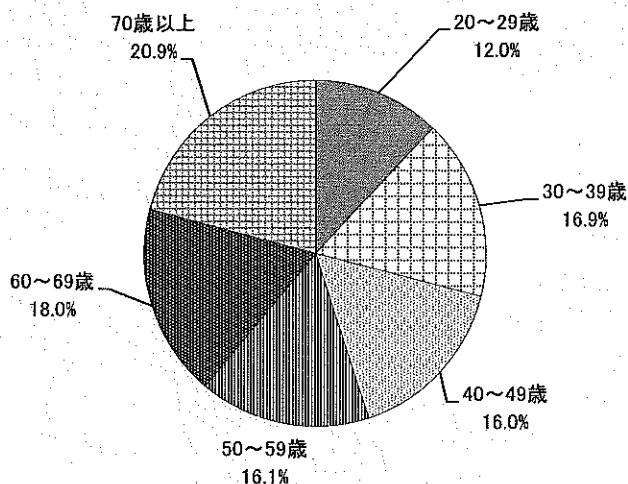
## 7 回答者の属性

### 【性別】



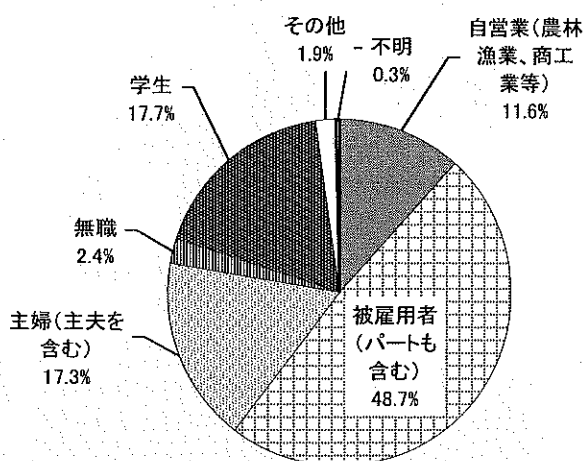
件数=764

### 【年代別】



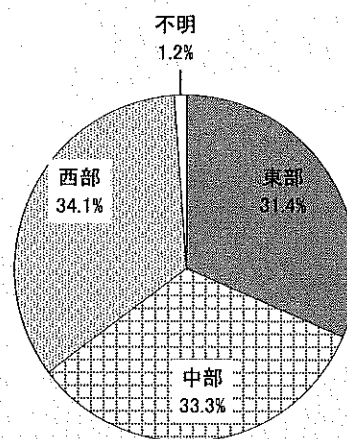
件数=764

### 【職業別】



件数=764

### 【地区別】



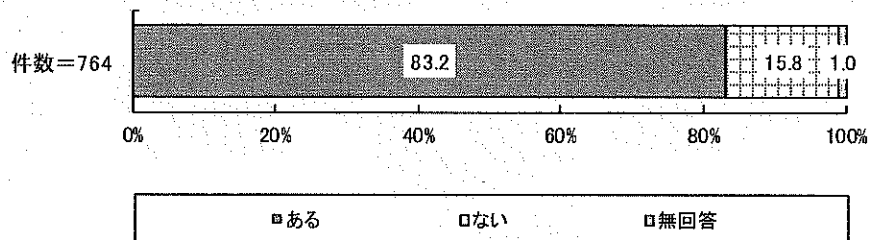
件数=764

## Ⅱ 設問別の結果

### 1 文化・芸術の鑑賞について

#### 1-1 メディアによる鑑賞機会

問1 あなたは、昨年1年間に、メディア(テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等)を通して、文化・芸術を鑑賞する機会がありましたか。

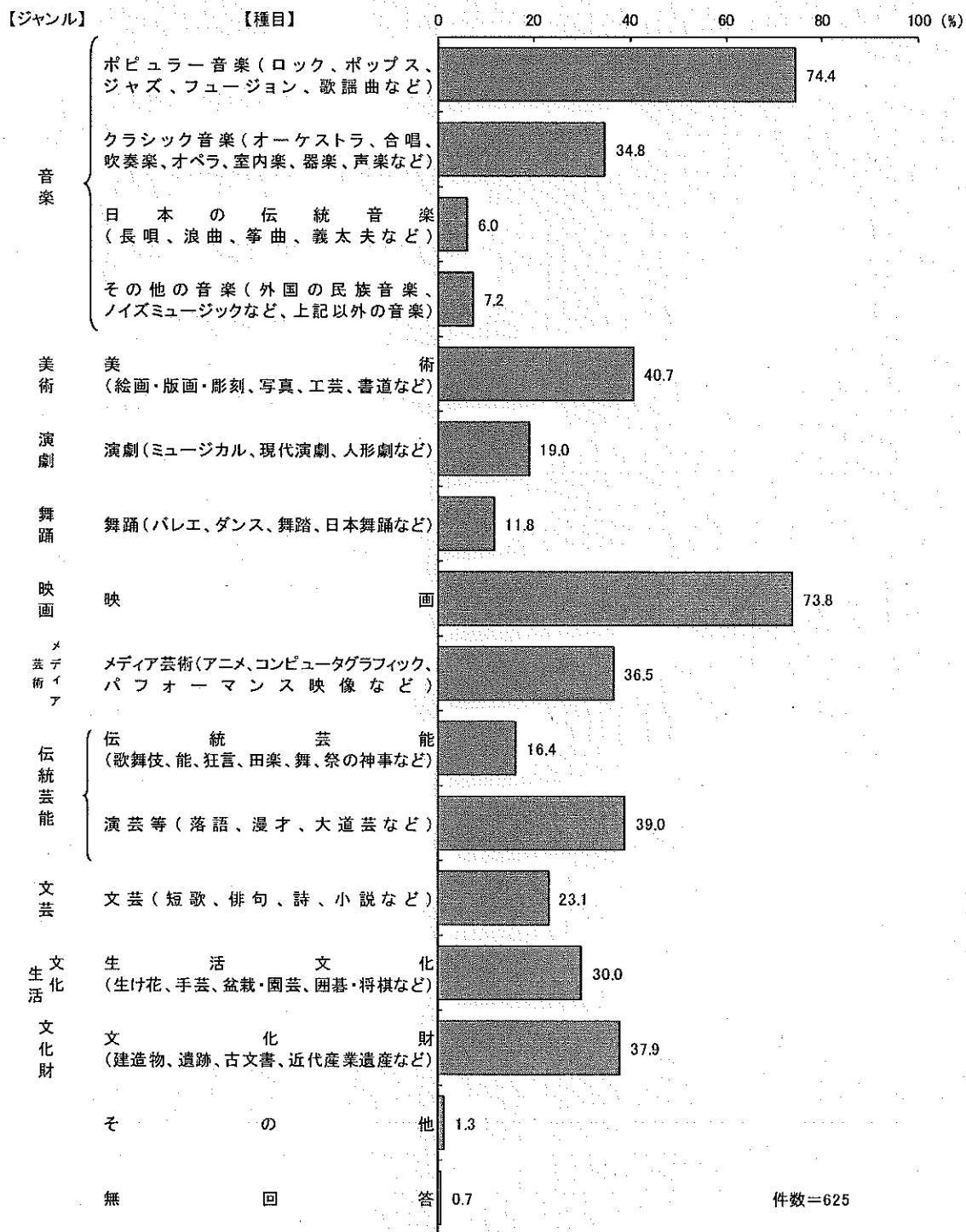


#### <全体>

昨年1年間に文化・芸術を鑑賞する機会が「ある」と回答した割合は83.2%で、「ない」と「無回答」の合計は16.8%であった。

## 1-2 メディアによる鑑賞内容

問2 問1で「1. ある」と回答された方にお聞きます。昨年1年間に、メディア(テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等)を通して鑑賞された文化・芸術はどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



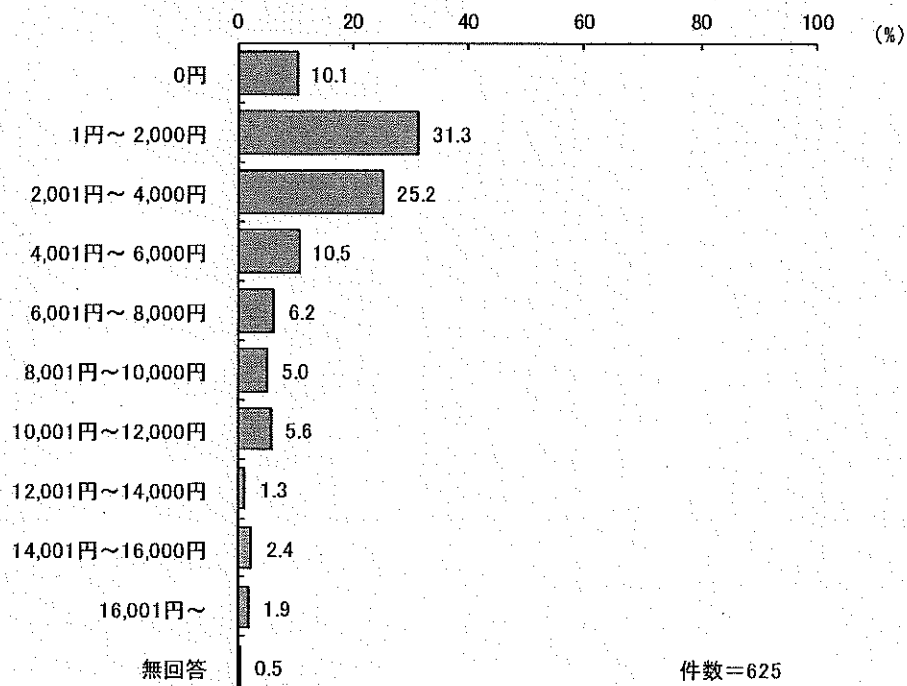
<全体>

昨年1年間にメディアを通して文化・芸術を鑑賞する機会が「ある」と回答した人（625人）の鑑賞内容は、第1位が「ポピュラー音楽（ロック、ポップス、ジャズ、フュージョン、歌謡曲など）」で74.4%、次いで「映画」が73.8%、「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）」が40.7%で続いている。



### 1-3 メディアによる鑑賞への月間支出額

問3 問1で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたは、昨年1年間でメディアを通じた文化・芸術鑑賞のために、1か月平均いくら位お金(ダウンロード代、レンタル代、書籍購入代など)を支出していますか。次の中から、最も近い金額に○をつけてください。



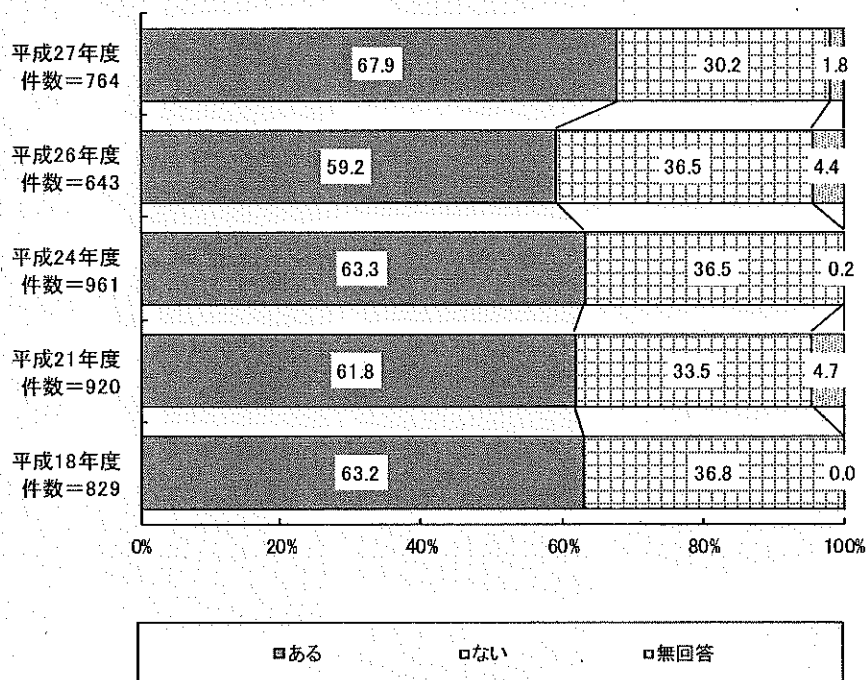
#### <全体>

昨年1年間にメディアを通して文化・芸術鑑賞をする機会があった人(625人)の月間平均支出額(ダウンロード代、レンタル代、書籍購入代など)は、「1円～2,000円」が31.3%で最も高く、次いで「2,001円～4,000円」25.2%、「4,001円～6,000円」10.5%の順となっている。

「16,001円以上」との回答は1.9%であった。

## 1-4 直接鑑賞機会

問4 あなたは、昨年1年間に、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などの会場で、直接、文化・芸術を鑑賞する機会がありましたか。



### <全体>

昨年1年間に文化・芸術を直接鑑賞する機会が「ある」と回答した割合は67.9%で、「ない」と「無回答」の合計は32.0%であった。

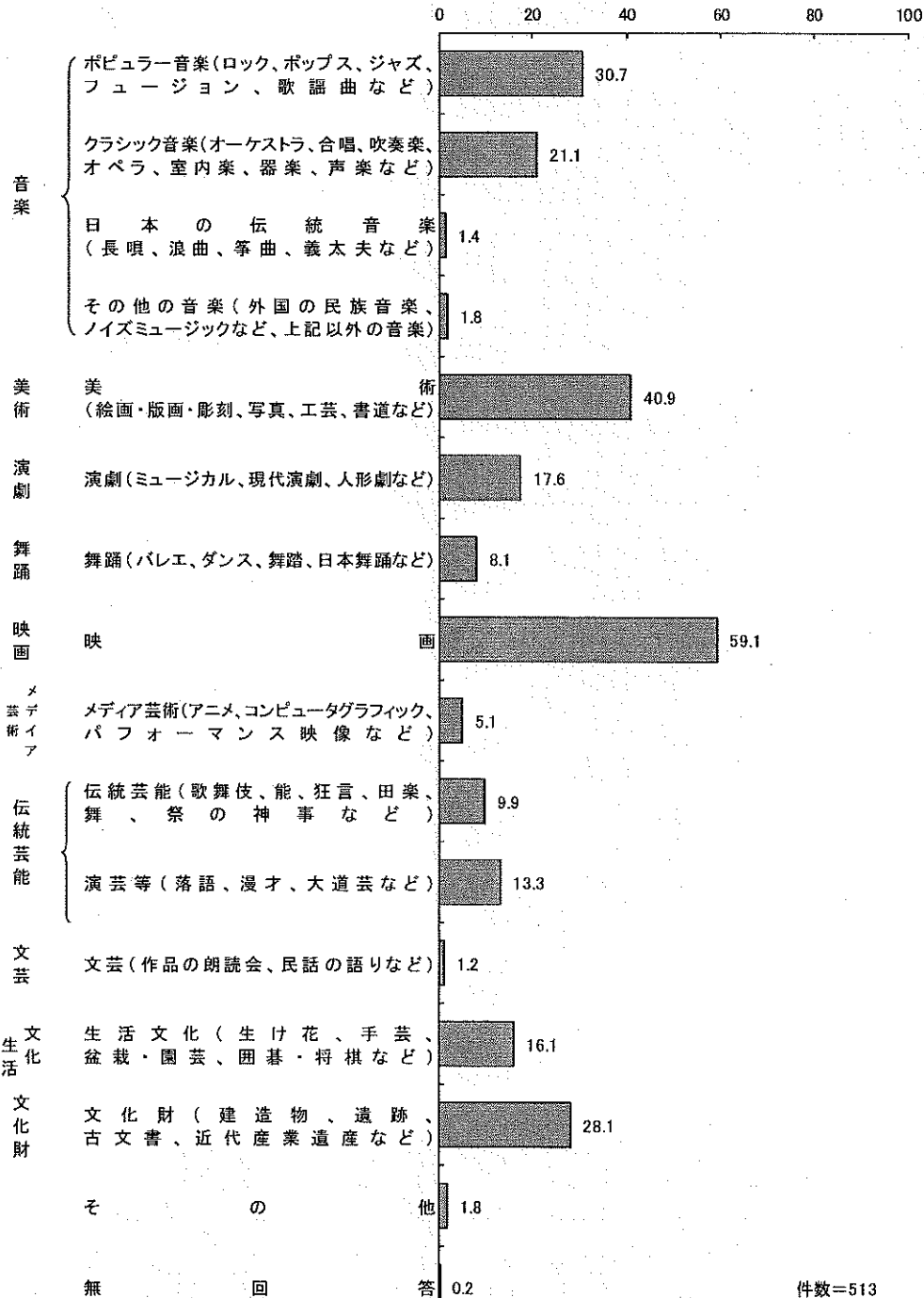
過去の調査と比較すると、文化・芸術を直接鑑賞する機会が「ある」とした人は前回の59.2%から8.7ポイント高くなり、過去5年間で最も高くなった。

## 1-5 直接鑑賞した内容

問5 問4で「1. ある」と回答された方にお聞きします。昨年1年間に、直接鑑賞された文化・芸術は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

【ジャンル】

【種目】



【図1-5-i 直接鑑賞した種目】

&lt;調査年度&gt;

(%)

【ジャンル】	【種目】	H18	H21	H24	H26	H27
音楽	ポピュラー	30.9	27.2	28.3	30.2	30.7
	クラシック	25.2	25.5	20.5	21.4	21.1
	伝統音楽	5.2	4.6	5.6	2.8	1.4
	その他音楽	3.8	4.2	3.2	3.8	1.8
美術	美術	50.8	49.0	50.5	46.2	40.9
演劇	演劇	19.1	19.2	17.2	16.0	17.6
舞踊	舞踊	10.9	10.5	8.0	9.6	8.1
映画	映画	55.5	59.4	60.9	53.5	59.1
メディア芸術	メディア芸術	4.0	3.2	2.8	2.5	5.1
伝統芸能	伝統芸能	7.3	6.2	6.2	8.9	9.9
	演芸等	11.8	17.4	13.4	14.8	13.3
文芸	文芸	2.5	3.9	4.1	4.7	1.2
生活文化	生活文化	26.9	23.6	20.0	26.0	16.1
文化財	文化財	23.7	20.9	22.3	29.5	28.1
その他		2.5	4.0	1.4	2.9	1.8
無回答		0.6	1.4	0.8	0.0	0.2

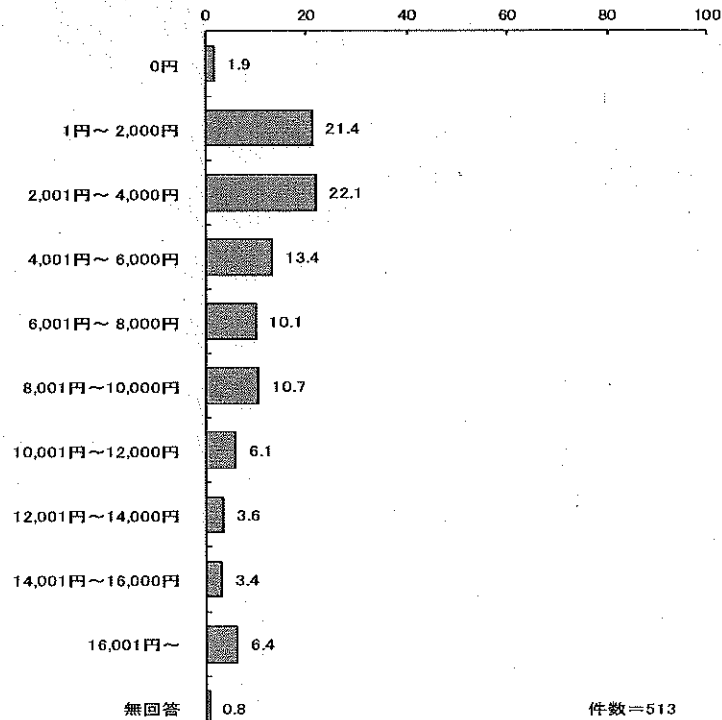
## &lt;全体&gt;

昨年1年間に文化・芸術を直接鑑賞する機会が「ある」と回答した人(513人)の鑑賞内容は、第1位が「映画」で59.1%、次いで「美術(絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道の展覧会など)」が40.9%、「ポピュラー音楽(ロック、ポップス、ジャズ、フュージョン、歌謡曲など)」が30.7%で続いている。

過去の調査と比較すると、「ポピュラー音楽」の割合は平成21年度以降、年々増加が続いている。一方、「美術」、「日本の伝統音楽(長唄、浪曲、箏曲、義太夫など)」などは平成24年度以降減少傾向にある。

## 1-6 直接鑑賞への1公演平均支出額

問6 問4で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、昨年1年間で文化・芸術鑑賞のために、1公演平均いくら位お金(チケット代、交通費など)を支出していますか。次の中から、最も近い金額に○をつけてください。



【図1-6-i 直接鑑賞への1公演平均支出額】

<調査年度>

(%)

【項目】	H18	H21	H24	H26	H27
0円	5.5	4.2	3.6	2.5	1.9
1円～2,000円	38.4	37.8	30.4	17.7	21.4
2,001円～4,000円	27.5	26.2	28.6	19.7	22.1
4,001円～6,000円	13.5	13.5	13.2	14.7	13.4
6,001円～8,000円	5.0	6.5	6.6	9.0	10.1
8,001円～10,000円	2.3	3.5	6.2	10.3	10.7
10,001円～12,000円	2.7	4.0	3.3	5.5	6.1
12,001円～14,000円	1.1	0.7	1.9	3.4	3.6
14,001円～16,000円	1.3	1.2	1.9	6.5	3.4
16,001円～	1.9	1.2	3.3	9.3	6.4
無回答	0.8	1.1	1.0	1.4	0.8

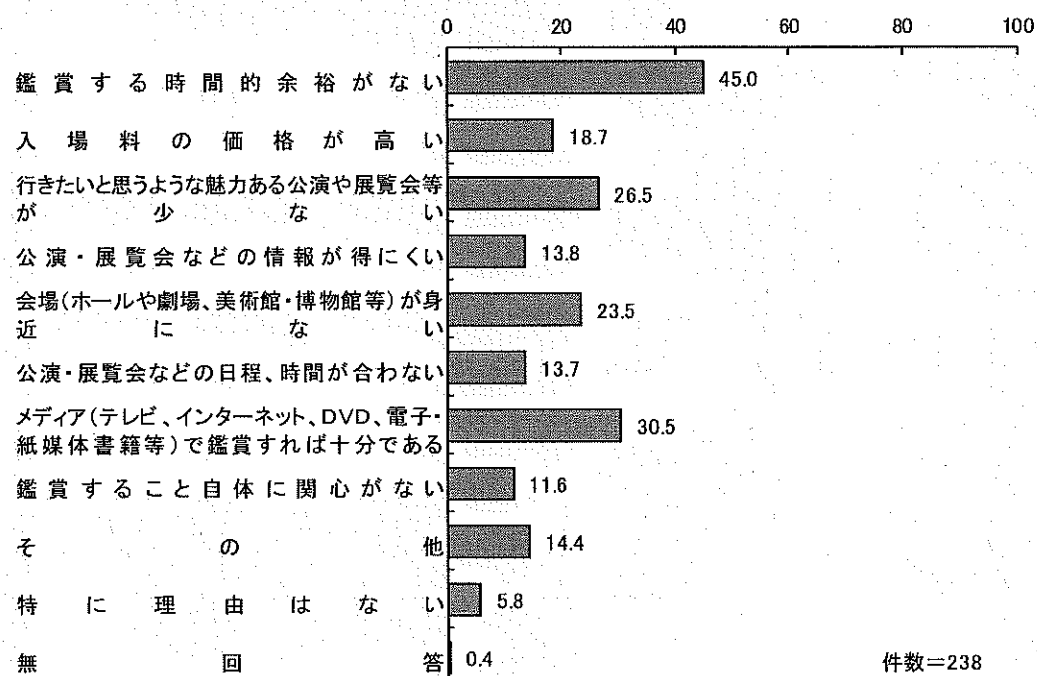
### ＜全体＞

昨年1年間に文化・芸術鑑賞をする機会があった人（513人）の文化・芸術鑑賞に関する1公演当たりの平均支出額は、「2,001円～4,000円」が22.1%で最も多く、次いで「1円～2,000円」21.4%、「4,001円～6,000円」13.4%の順となっている。「16,001円以上」との回答は6.4%であった。

過去の調査と比較すると、「0円」と回答する割合は減少傾向にあり、一方で「6,001円～8,000円」、「8,001円～10,000円」、「10,001円～12,000円」、「12,001円～14,000円」などの価格帯ではわずかながら増加傾向がうかがえる。また、「16,001円以上」は前回の調査から2.9ポイント減となっている。

## 1-7 直接鑑賞しなかった理由

問7 問4で「2. ない」と回答された方にお聞きします。昨年、あなたが鑑賞に出かけなかったのは、どのような理由からですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-7-i 直接鑑賞しなかった理由】

【項目】	＜調査年度＞ (%)		
	H24	H26	H27
鑑賞する時間的余裕がない	50.1	34.7	45.0
入場料の価格が高い	19.0	10.4	18.7
行きたいと思うような魅力ある公演や展覧会等が少ない	24.6	18.2	26.5
公演・展覧会などの情報が得にくい	20.6	11.0	13.8
会場が身近にない	22.1	15.4	23.5
公演・展覧会などの日程、時間が合わない	-	7.6	13.7
メディアで鑑賞すれば十分である	15.8	10.6	30.5
鑑賞すること自体に関心がない	14.8	13.7	11.6
その他	5.4	11.0	14.4
特に理由はない	9.1	6.6	5.8
無回答	1.8	12.8	0.4

### <全体>

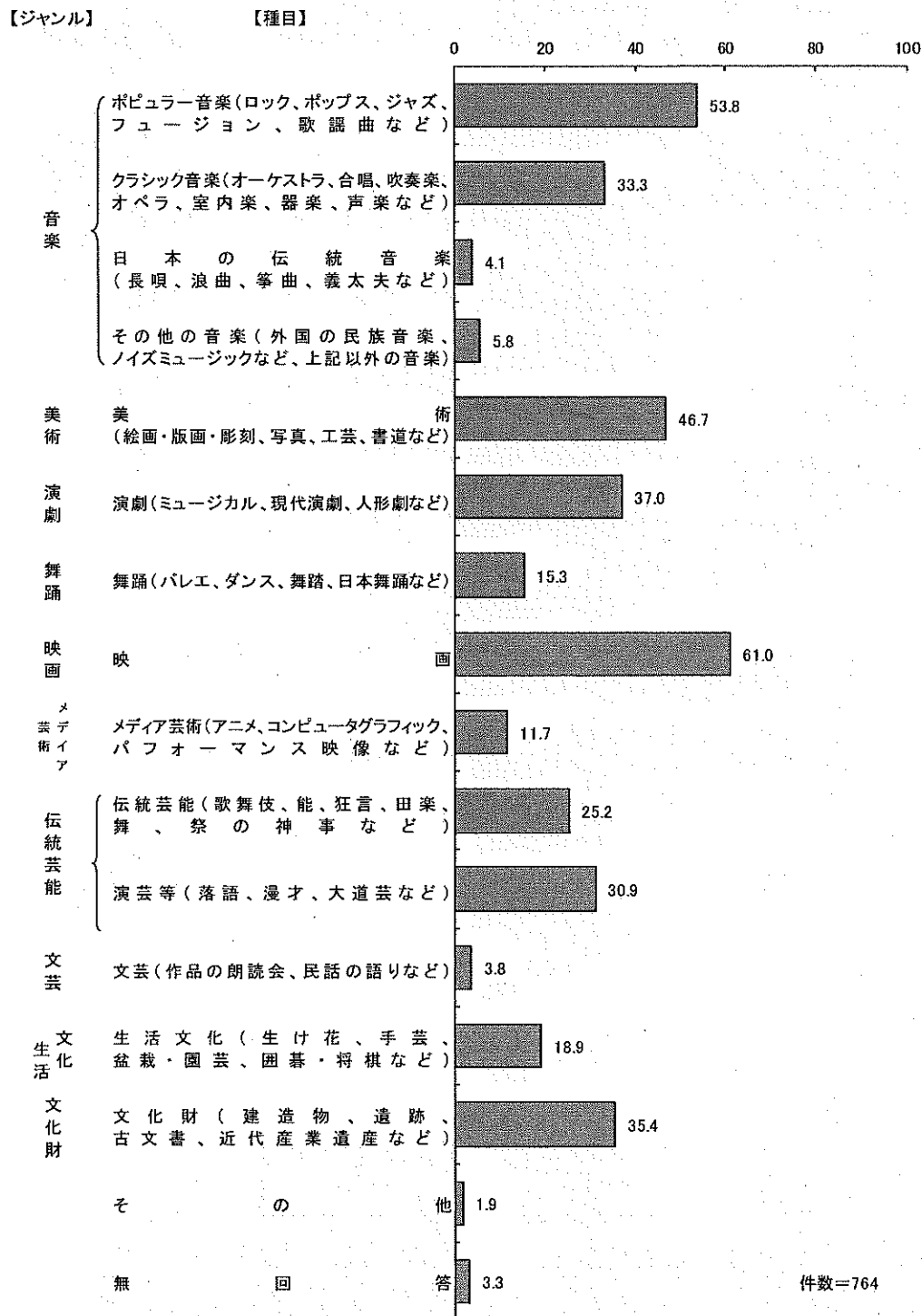
昨年1年間に文化・芸術鑑賞をしなかった人（238人）の理由の第1位は、「鑑賞する時間的余裕がない」が45.0%と最も高く、次いで「メディア（テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等）で鑑賞すれば十分である」が30.5%、「行きたいと思うような魅力ある公演や展覧会等が少ない」が26.5%と続いている。また、「会場（ホールや劇場、美術館、博物館等）が身近にない」も23.5%と2割超となっている。

一方、「特に理由はない」は5.8%となっている。



## 1-8 今後直接鑑賞したい内容

問8 あなたは、今後、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などで直接鑑賞したいと思っているものはありますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-8-i 直接鑑賞したい内容】

&lt;調査年度&gt;

(%)

【ジャンル】	【種目】	H18	H21	H24	H26	H27
音楽	ポピュラー	43.4	42.9	43.3	41.0	53.8
	クラシック	37.0	33.7	31.5	30.2	33.3
	伝統音楽	7.6	7.0	6.5	7.8	4.1
	その他音楽	7.2	6.5	5.7	6.5	5.8
美術	美術	42.0	40.0	42.2	41.7	46.7
演劇	演劇	32.3	30.3	28.2	29.5	37.0
舞踊	舞踊	14.4	13.2	12.6	10.8	15.3
映画	映画	53.9	55.1	55.0	46.1	61.0
メディア芸術	メディア芸術	5.8	5.2	5.6	5.2	11.7
伝統芸能	伝統芸能	18.9	16.3	20.3	21.8	25.2
	演芸等	26.8	29.6	26.9	30.2	30.9
文芸	文芸	3.0	3.3	3.3	4.4	3.8
生活文化	生活文化	19.2	17.6	16.7	23.2	18.9
文化財	文化財	23.8	22.1	26.1	26.7	35.4
その他		2.2	1.0	0.6	1.3	1.9
無回答		0.5	3.7	3.0	3.3	3.3

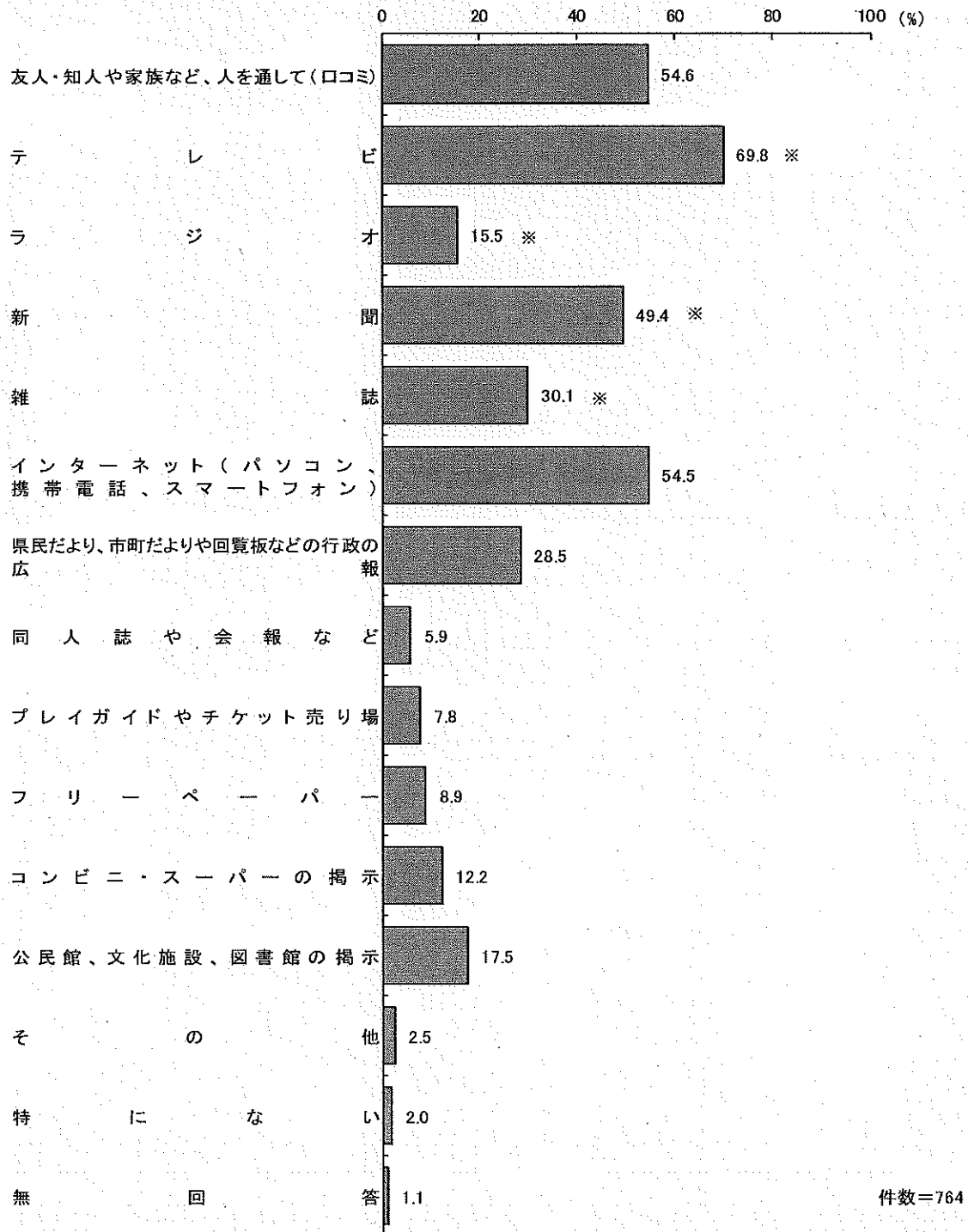
## &lt;全体&gt;

今後直接鑑賞したい種目の第1位は「映画」が61.0%と最も高く、次いで「ポピュラー音楽（ロック、ポップス、ジャズ、フュージョン、歌謡曲など）」が53.8%、「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道の展覧会など）」が46.7%、「文化財」が35.4%と続いている

過去の調査と比較すると「ポピュラー音楽」「映画」は平成26年度調査から、それぞれ10ポイント以上大きく増加した。一方、「日本の伝統音楽」「その他の音楽」「生活文化」「演芸等」「美術」は明確な変化はなく、「クラシック音楽」は減少傾向となっている。

## 1-9 鑑賞情報の入手媒体

問9 あなたは、直接鑑賞する機会の情報を入手するために、現在どのようなもの(媒体・手段)を利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図1-9-i 鑑賞情報の入手媒体】

【項目】	＜調査年度＞				
	H18	H21	H24	H26	H27
友人・知人や家族など、 人を通して(口コミ)	45.7	47.1	51.1	53.8	54.6
テレビ(※)	59.2	57.6	59.4	57.6	69.8
ラジオ(※)					15.5
新聞(※)	63.6	59.2	51.2	54.0	49.4
雑誌(※)					30.1
インターネット	25.2	29.0	36.7	31.2	54.5
行政の広報	35.6	32.6	27.0	35.2	28.5
同人誌や会報など	3.1	1.6	4.2	2.2	5.9
プレイガイドやチケット売り場	6.2	4.2	3.8	4.9	7.8
フリーペーパー	-	-	-	-	8.9
コンビニ・スーパーの掲示	7.1	7.3	7.6	7.7	12.2
公民館、文化施設、図書館の掲示	13.3	12.4	12.1	16.5	17.5
その他	1.9	0.8	2.3	1.9	2.5
特になし	6.5	5.9	5.2	5.6	2.0
無回答	1.2	3.5	3.2	3.2	1.1

※平成27年の「テレビ」「ラジオ」は平成18年度～平成26年度までの「テレビ・ラジオ」を2項目に分けて集計。

※平成27年の「新聞」「雑誌」は平成18年度～平成26年度までの「新聞・雑誌」を2項目に分けて集計。

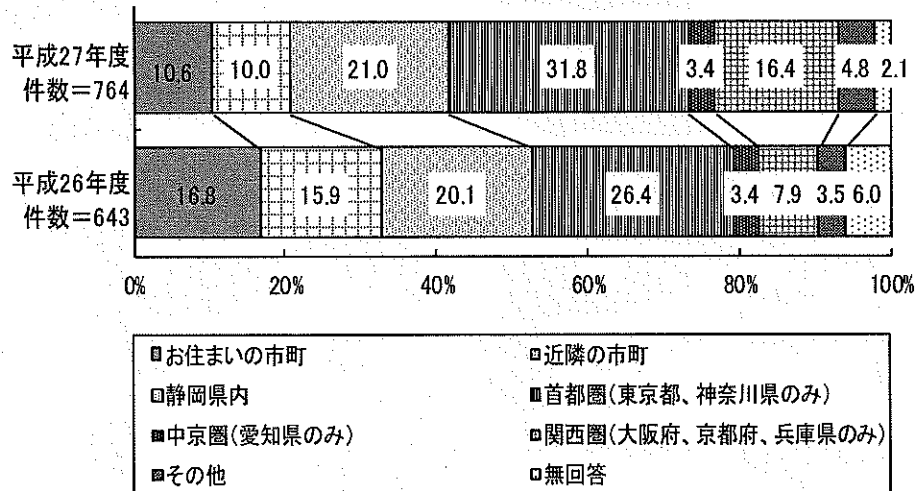
#### ＜全体＞

文化・芸術鑑賞についての情報を入手するために、現在利用している媒体手段は「テレビ」が69.8%と最も高く、次いで、「友人・知人や家族など、人を通して(口コミ)」が54.6%、インターネット(パソコン、携帯電話、スマートフォン)が54.5%と続いている。「新聞」は49.4%、「雑誌」は30.1%であった。

過去の調査と比較すると、「友人・知人や家族など、人を通して(口コミ)」は年々増加傾向にある。「インターネット(パソコン、携帯電話、スマートフォン)」も54.5%と前回の31.2%から大きく割合を伸ばしている。

## 1-10 鑑賞のために出かけたと思う地域の範囲

問10 あなたのお住まいの地域から、芸術鑑賞のために出かけになりたいと思う最も遠い地域の範囲はどのあたりまでですか。次の中から、当てはまるもの1つだけに○をつけてください。



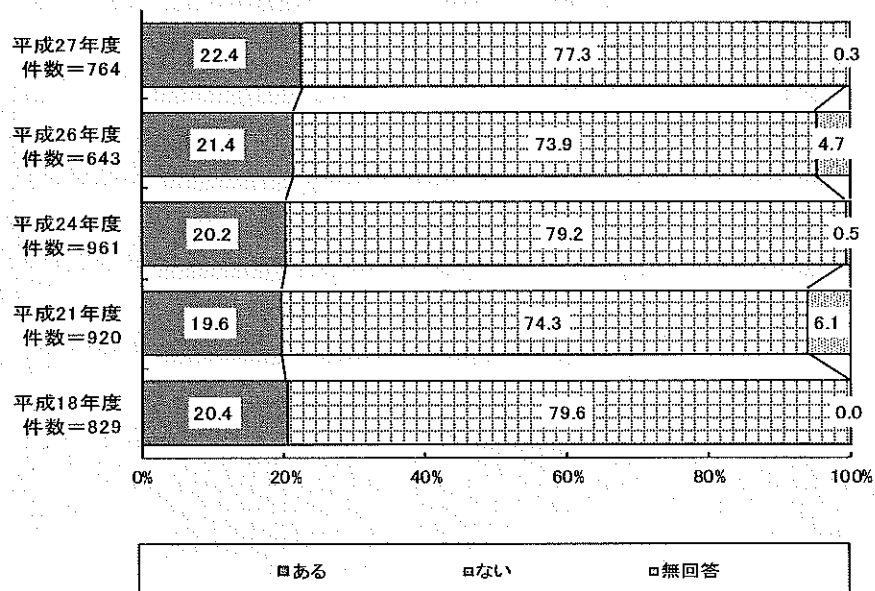
### <全体>

芸術鑑賞のために出かけたと思う最も遠い地域の範囲については、「首都圏（東京都、神奈川県のみ）」が 31.8%で最も高く、次いで「静岡県内」が 21.0%、「関西圏（大阪府、京都府、兵庫県のみ）」が 16.4%と続いた。

## 2 文化・芸術の活動について

### 2-1 活動機会の有無

問11 あなたは、昨年1年間に、文化・芸術に関する事で、個人またはグループで、継続して活動したことはありましたか。



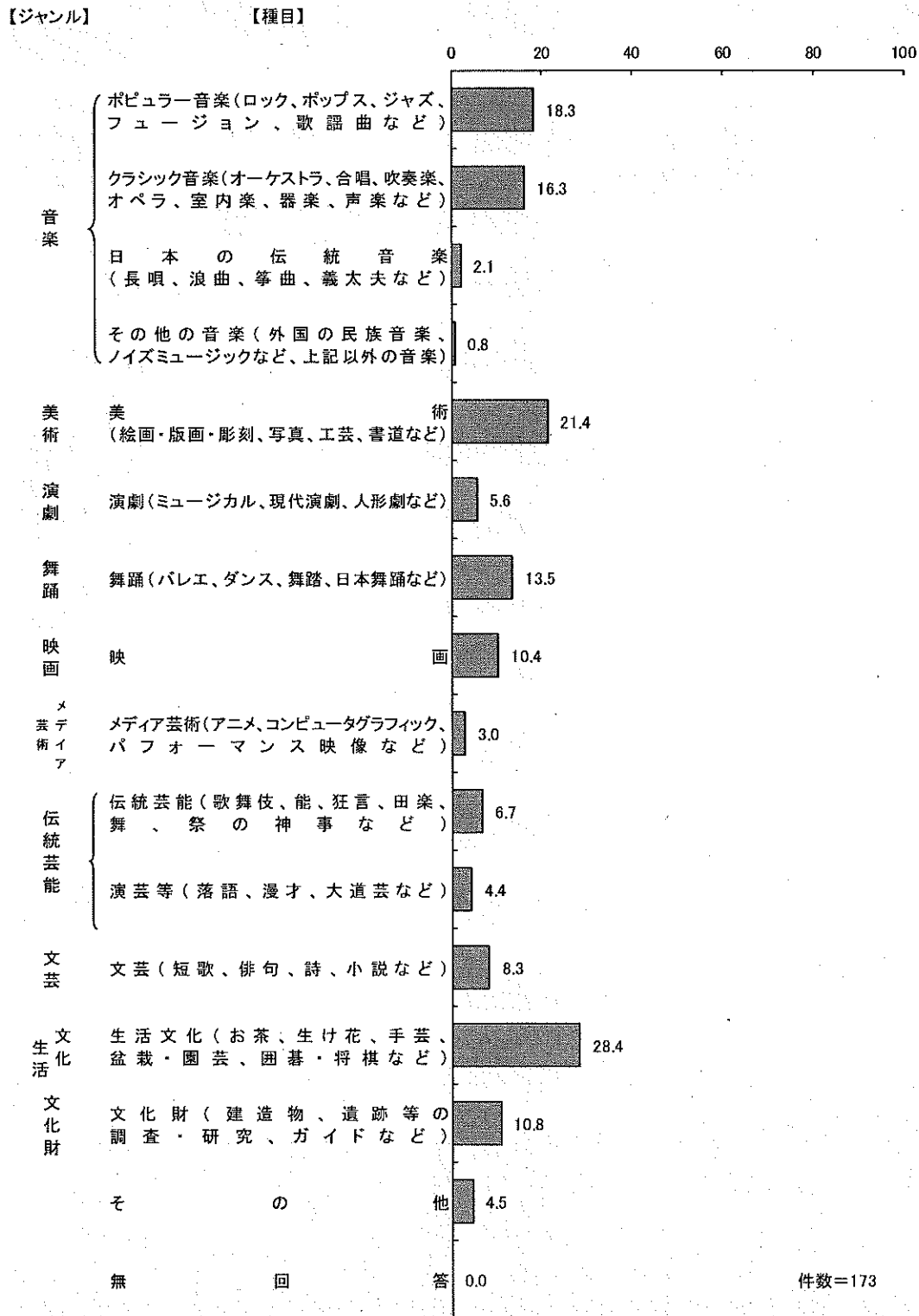
#### <全体>

昨年1年間に文化・芸術に関する活動をしたことが「ある」人は22.4%で、ほぼ5人に1人となっている。一方、したことが「ない」と「無回答」の合計は77.6%となり、5人に4人の割合となっている。

過去の調査と比較すると、文化・芸術に関する活動をしたことが「ある」人は平成21年度以降、微増で推移している。

## 2-2 活動内容

問12 問11で「1. ある」と回答された方にお聞きます。継続して活動したことは次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図2-2-i 活動した種目】

【ジャンル】	【種目】	＜調査年度＞				
		H18	H21	H24	H26	H27
音楽	ポピュラー	20.1	8.3	14.9	15.2	18.3
	クラシック	14.2	12.8	23.1	16.2	16.3
	伝統音楽	6.5	3.3	4.4	3.6	2.1
	その他音楽	1.8	2.8	1.8	1.9	0.8
美術	美術	24.9	25.0	26.1	27.6	21.4
演劇	演劇	6.5	5.6	4.1	3.2	5.6
舞踊	舞踊	14.2	19.4	13.9	15.2	13.5
映画	映画	7.7	4.4	11.4	16.4	10.4
メディア芸術	メディア芸術	1.2	2.2	4.0	4.0	3.0
伝統芸能	伝統芸能	2.4	3.3	3.5	7.3	6.7
	演芸等	5.3	1.7	2.0	2.4	4.4
文芸	文芸	11.2	6.1	4.7	8.8	8.3
生活文化	生活文化	35.5	31.7	29.7	36.1	28.4
文化財	文化財	5.9	6.7	8.1	16.5	10.8
その他		4.7	10.6	6.3	7.1	4.5
無回答		0.0	2.2	2.6	1.3	0.0

## ＜全体＞

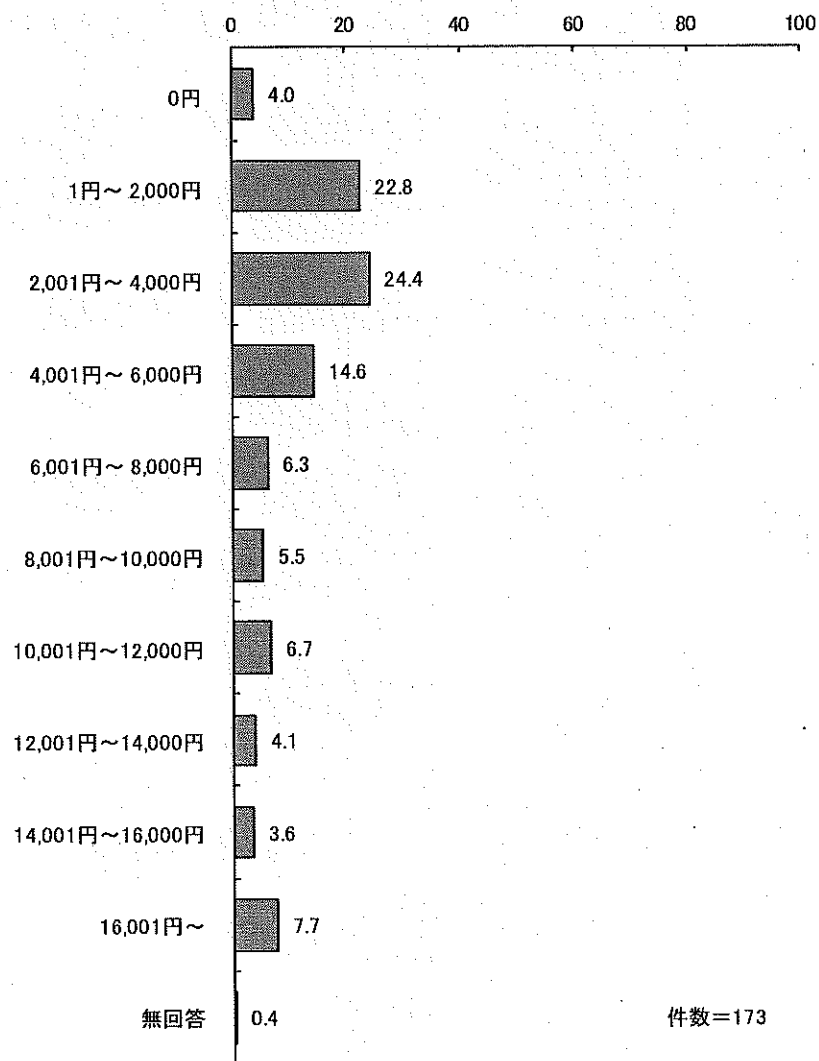
昨年1年間に文化・芸術に関する事で、個人またはグループで、継続して学習や活動をした機会が「ある」と回答した人（173人）の活動内容は、第1位が「生活文化（お茶、生け花、手芸、盆栽・園芸、囲碁・将棋など）」で28.4%、次いで「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）」が21.4%、「ポピュラー音楽（ロック、ポップス、ジャズ、フュージョン、歌謡曲など）」が18.3%となっている。

過去の調査と比較すると、「美術」は平成18年度以降増加が続いていたが、平成27年度は21.4%で、平成26年度の27.6%より6.2ポイント減少した。一方、「ポピュラー音楽」「演劇」「演芸等」はわずかだが平成26年度を上回っている。



## 2-3 活動への月間支出額

問13 問11で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたは、昨年1年間で文化・芸術に関することで、個人またはグループで、継続して活動するために、1か月平均いくら位お金を支出していますか。次の中から、最も近い金額に○をつけてください。



【図2-3-i 活動への月間平均支出額】

【項目】	＜調査年度＞				
	H18	H21	H24	H26	H27
0円	3.6	4.4	0.9	0.7	4.0
1円～2,000円	18.9	18.3	17.4	20.4	22.8
2,001円～4,000円	20.1	23.3	24.4	21.9	24.4
4,001円～6,000円	21.9	12.8	15.8	13.9	14.6
6,001円～8,000円	11.2	7.8	10.2	10.2	6.3
8,001円～10,000円	2.4	10.6	8.0	11.7	5.5
10,001円～12,000円	6.5	8.9	11.6	5.8	6.7
12,001円～14,000円	2.4	2.2	3.6	2.2	4.1
14,001円～16,000円	3.6	3.3	2.3	5.8	3.6
16,001円～	8.3	6.7	4.3	7.3	7.7
無回答	1.2	1.7	1.7	0.0	0.4

## ＜全体＞

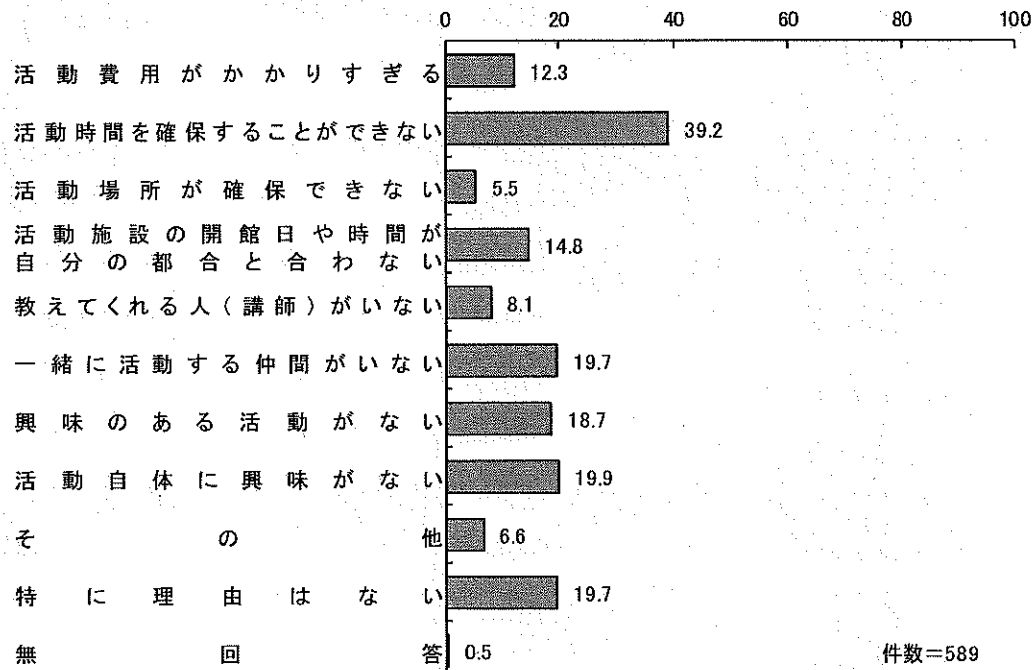
昨年1年間に文化・芸術に関する事で、個人またはグループで、継続して学習したり、活動した機会が「ある」と回答した人の月間支出額は、「2,001円～4,000円」が24.4%で最も多く、次いで「1円～2,000円」22.8%、「4,001円～6,000円」14.6%の順となっている。

「16,001円以上」との回答は7.7%であった。

過去の調査と比較すると、平成24年度と平成26年度では1.0%未満の「0円」が平成27年度には4.0%となった。また、「1円～2,000円」は平成21年度以降増加傾向で推移している。

## 2-4 活動しなかった理由

問14 問11で「2. ない」と回答された方にお聞きます。あなたが活動していないのは、どのような理由からですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図2-4-1 活動しなかった理由】

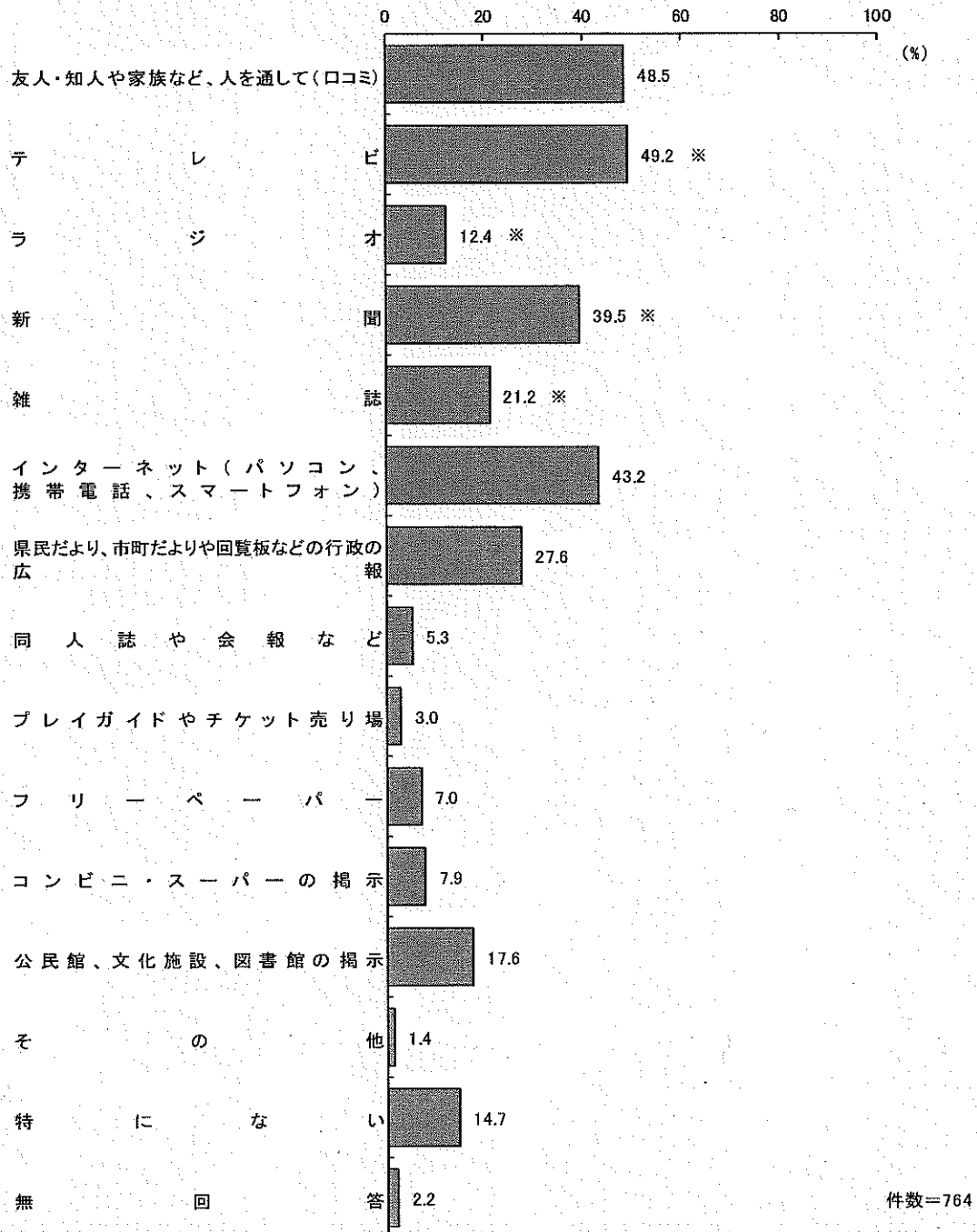
【項目】	<調査年度>		
	H24	H26	H27
活動費用がかかりすぎる	14.3	14.3	12.3
活動時間を確保することができない	54.8	45.9	39.2
活動場所が確保できない	2.8	5.1	5.5
活動施設の開館日や時間が自分の都合と合わない	3.5	1.9	14.8
教えてくれる人(講師)がいない	5.9	5.0	8.1
一緒に活動する仲間がいない	20.0	16.1	19.7
興味のある活動がない	20.1	19.5	18.7
活動自体に興味がない	11.7	14.5	19.9
その他	4.2	5.7	6.6
特に理由はなし	12.9	14.6	19.7
無回答	0.7	1.7	0.5

<全体>

昨年1年間に文化・芸術に関する活動をしなかった理由、または、活動の障害となることの第1位は「活動時間を確保することができない」が39.2%と最も高く、次いで「活動自体に興味がない」19.9%、「一緒に活動する仲間がいない」19.7%、「興味のある活動がない」18.7%の順となっている。

## 2-5 活動の情報入手媒体

問15 あなたは、文化・芸術に関する活動についての情報を入手するために、現在どのようなもの(媒体・手段)を利用していますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図2-5-i 活動の情報入手媒体】

【項目】	＜調査年度＞					(%)
	H18	H21	H24	H26	H27	
友人・知人や家族など、人を通して (口コミ)	45.6	46.1	46.7	50.1	48.5	
テレビ(※)	45.8	46.1	45.6	51.3	49.2	
ラジオ(※)					12.4	
新聞(※)	54.6	52.3	47.3	52.4	39.5	
雑誌(※)					21.2	
インターネット	20.9	24.1	30.7	29.5	43.2	
行政の広報	40.8	35.5	33.1	36.9	27.6	
同人誌や会報など	3.0	2.2	3.0	2.6	5.3	
プレイガイドやチケット売り場	2.3	2.4	2.2	3.0	3.0	
フリーペーパー	-	-	-	-	7.0	
コンビニ・スーパーの掲示	4.0	4.7	4.6	6.0	7.9	
公民館、文化施設、図書館の掲示	13.3	14.0	13.3	16.1	17.6	
その他	0.8	0.5	0.7	0.8	1.4	
特にない	13.1	12.8	14.3	9.1	14.7	
無回答	1.9	3.3	2.2	5.3	2.2	

※平成27年の「テレビ」「ラジオ」は平成18年度～平成26年度までの「テレビ・ラジオ」を2項目に分けて集計。

※平成27年の「新聞」「雑誌」は平成18年度～平成26年度までの「新聞・雑誌」を2項目に分けて集計。

#### ＜全体＞

文化・芸術に関する活動について、利用している媒体手段の第1位は「テレビ」が49.2%となった。次いで「友人・知人や家族など、人を通して（口コミ）」が48.5%、「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」が43.2%となっている。

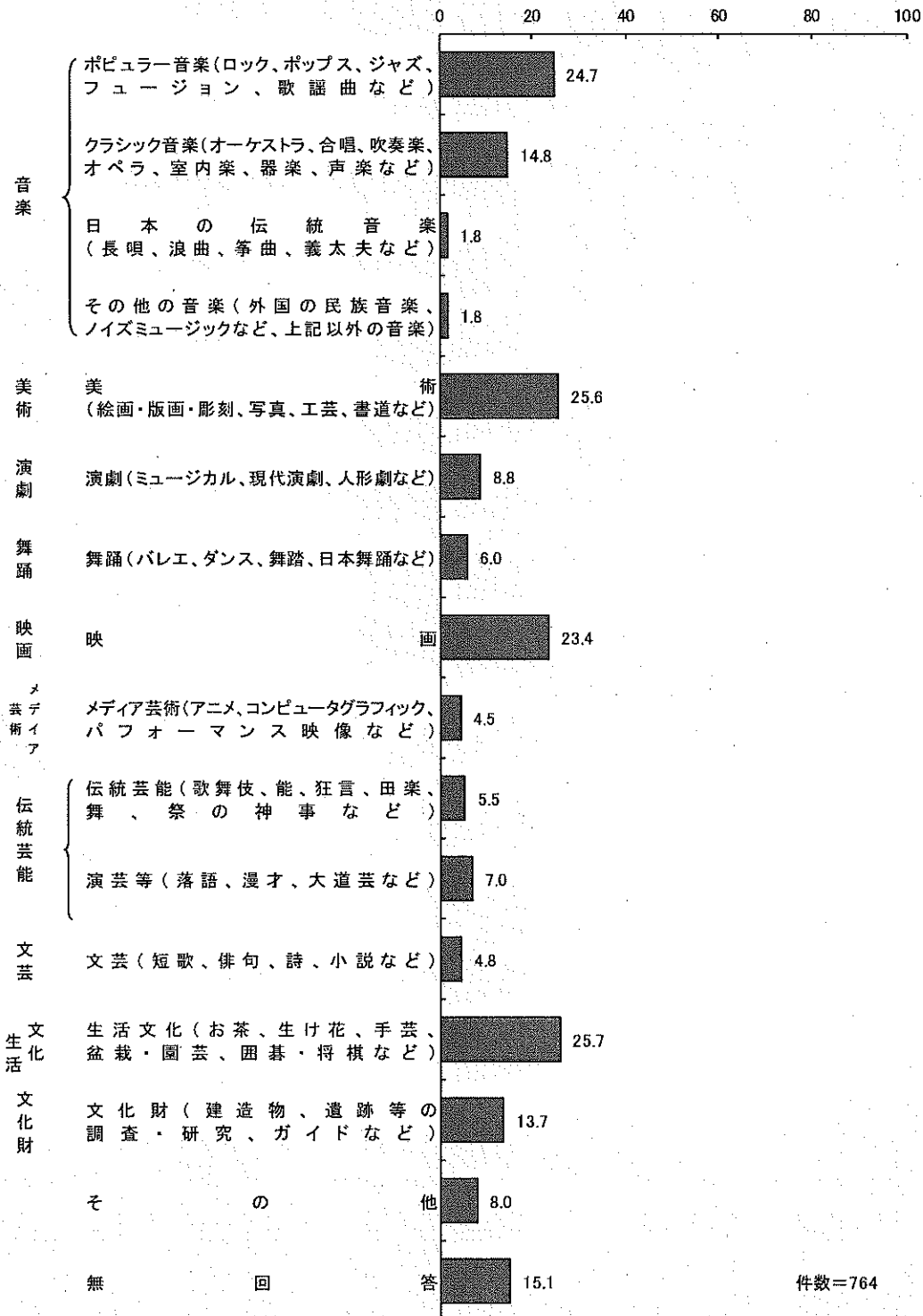
過去の調査と比較すると、「インターネット（パソコン、携帯電話、スマートフォン）」の43.2%は平成26年度の29.4%から大きく増加している。

## 2-6 今後活動したい内容

問16 あなたは、次にあげる文化・芸術に関する活動の中で、今後、継続して活動してみたいものがありますか。活動してみたいものすべてに○をつけてください。

【ジャンル】

【種目】



【図2-6-i 活動したい種目】

&lt;調査年度&gt;

(%)

【ジャンル】	【種目】	H18	H21	H24	H26	H27
音楽	ポピュラー	15.3	15.2	13.3	15.9	24.7
	クラシック	15.1	13.4	14.3	14.4	14.8
	伝統音楽	4.2	3.5	3.2	2.8	1.8
	その他音楽	3.3	1.8	1.1	1.8	1.8
美術	美術	27.0	27.0	27.8	26.5	25.6
演劇	演劇	7.0	5.9	5.7	8.6	8.8
舞踊	舞踊	8.7	9.0	8.0	4.6	6.0
映画	映画	15.4	15.8	15.3	19.2	23.4
メディア芸術	メディア芸術	2.8	2.3	2.6	2.7	4.5
伝統芸能	伝統芸能	3.5	4.1	4.1	6.3	5.5
	演芸等	5.8	7.1	5.9	8.1	7.0
文芸	文芸	5.3	4.1	4.7	6.3	4.8
生活文化	生活文化	29.4	24.8	23.7	25.4	25.7
文化財	文化財	10.1	10.5	13.2	14.4	13.7
その他		1.6	1.8	1.2	1.0	8.0
無回答		1.2	5.9	4.6	7.2	15.1

## &lt;全体&gt;

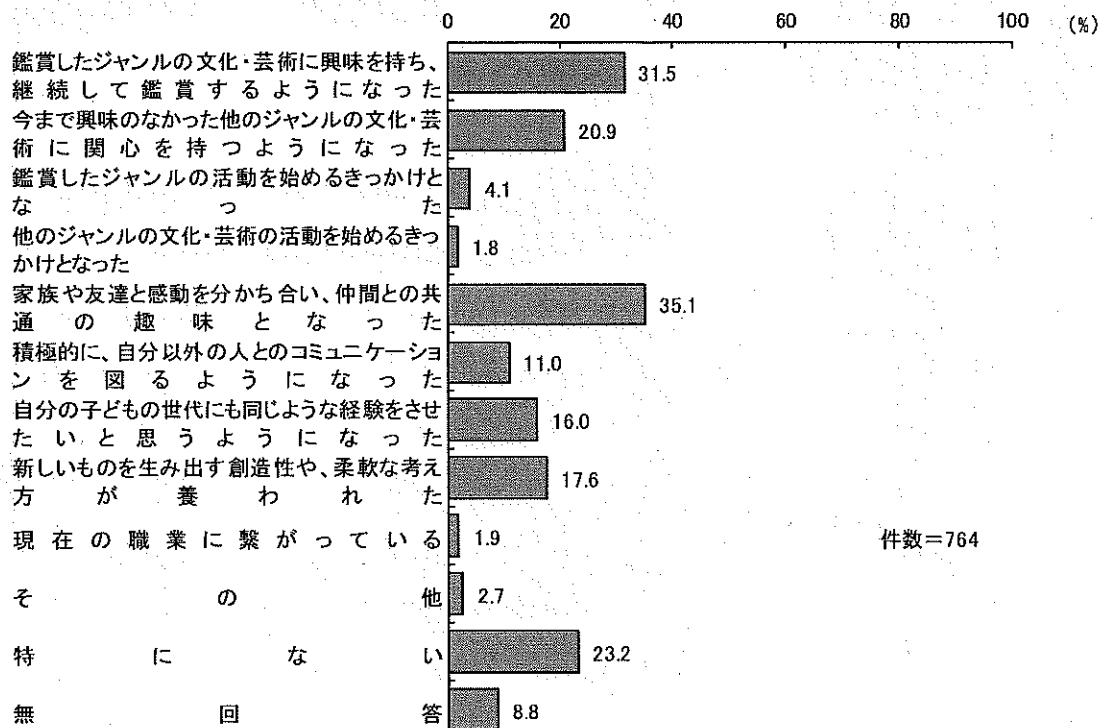
今後、活動したい内容（活動意向）の種目の第1位は「生活文化（お茶、生け花、手芸、盆栽・園芸、囲碁・将棋など）」が25.7%、「美術（絵画・版画・彫刻、写真、工芸、書道など）」が25.6%、「ポピュラー音楽（ロック、ポップス、ジャズ、フュージョン、歌謡曲など）」が24.7%の順となった。

過去の調査と比較すると、「ポピュラー音楽」は平成26年度より大きく増加し、一方、「日本の伝統音楽」は年々減少傾向で推移している。



## 2-7 活動による効果・影響

問17 あなたは、これまで文化・芸術に関する活動を行ったことで、自身にどのような効果・影響がありましたか。  
次の中から当てはまるものを3つまで○をつけてください。



### <全体>

活動による効果・影響については、「家族や友達と感動を分かち合い、仲間との共通の趣味となった」が35.1%で最も高く、次いで「鑑賞したジャンルの文化・芸術に興味を持ち、継続して鑑賞するようになった」が31.5%、「今まで興味なかった他のジャンルの文化・芸術に関心を持つようになった」が20.9%となった。なお「特にない」は23.2%であった。

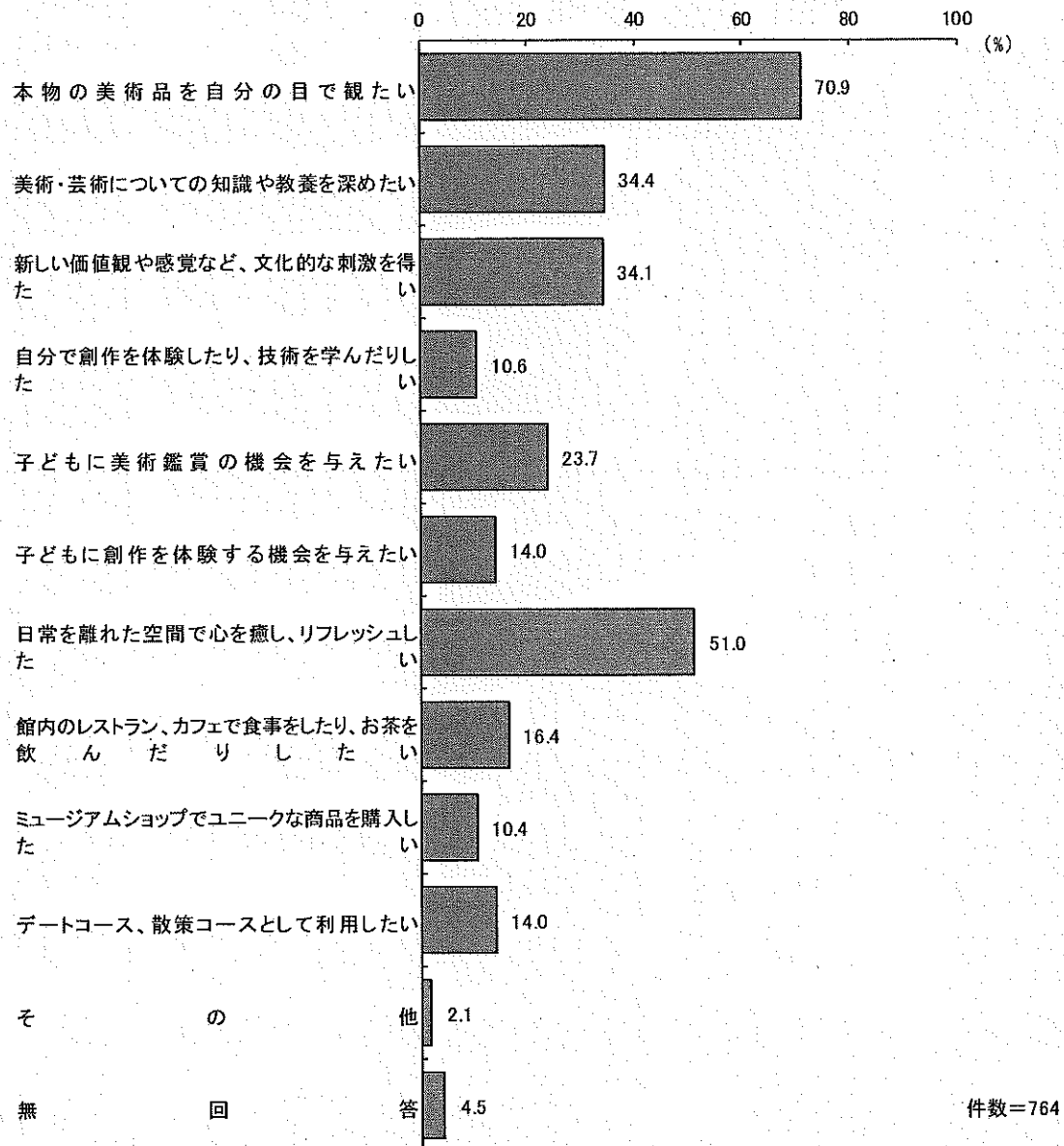
また、「現在の職業に繋がっている」で挙げられた具体的職業は、次の通りである。

- ・教員・教諭
- ・観光名所案内など
- ・建築設計
- ・パティシエ
- ・童話作家
- ・書道教師（主として和様）

### 3 静岡県の文化施設等について

#### 3-1 「静岡県立美術館」への期待

問18 あなたが県立美術館に行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-1-i 「静岡県立美術館」への期待】

【項目】	＜調査年度＞			
	H18	H21	H24	H27
本物の美術品を自分の目で観たい	67.7	70.2	72.6	70.9
美術・芸術についての知識や教養を深めたい	36.3	33.3	33.1	34.4
新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい	35.5	29.0	28.7	34.1
自分で創作を体験したり、技術を学んだりしたい	6.3	10.8	10.8	10.6
子どもに美術鑑賞の機会を与えたい	-	24.8	24.8	23.7
子どもに創作を体験する機会を与えたい	-	-	-	14.0
日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい	48.9	45.8	43.4	51.0
館内のレストラン、カフェで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい	7.2	12.6	15.4	16.4
ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい	5.3	7.4	7.7	10.4
デートコース、散策コースとして利用したい	8.9	9.5	7.5	14.0
その他	2.1	1.1	2.6	2.1
無回答	13.1	9.8	4.7	4.5

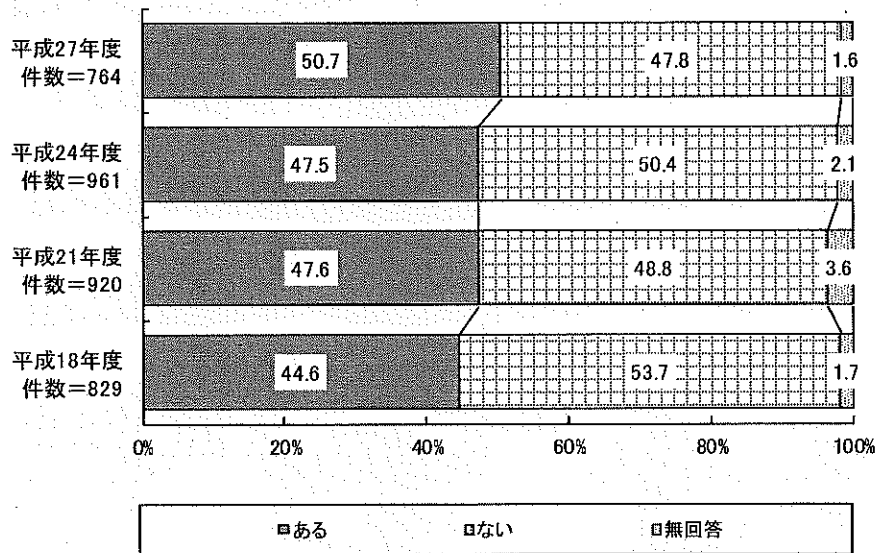
#### ＜全体＞

静岡県立美術館に期待することの第1位は、「本物の美術品を自分の目で観たい」70.9%で回答者の7割に上った。次いで「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」51.0%、「美術・芸術についての知識や教養を深めたい」34.4%、「新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい」34.1%の順となっている。

過去の調査と比較すると、「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」、「デートコース、散策コースとして利用したい」が平成26年度から割合が増加している。「館内のレストラン、カフェで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい」や「ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい」も年々増加傾向で推移している。

### 3-2 「グランシップ」の利用経験

問19 あなたは、グランシップに行った(利用した)ことがありますか。



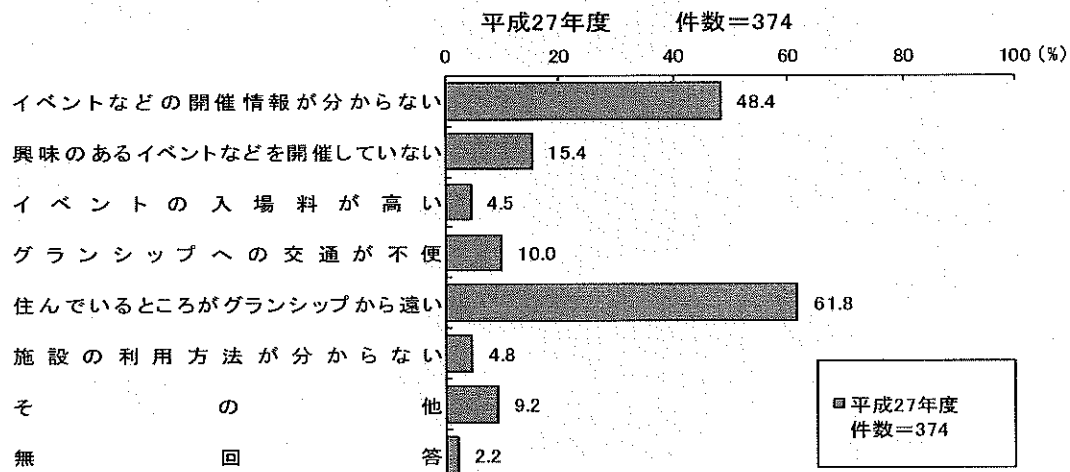
#### <全体>

グランシップに行った(利用した)ことが「ある」は50.7%、行ったことが「ない」は47.8%となった。

過去の調査と比較すると、平成18年度以降、初めて「ある」が過半数を占めた。

### 3-3 「グランシップ」の未利用理由

問20 問19で「2.ない」と回答された方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

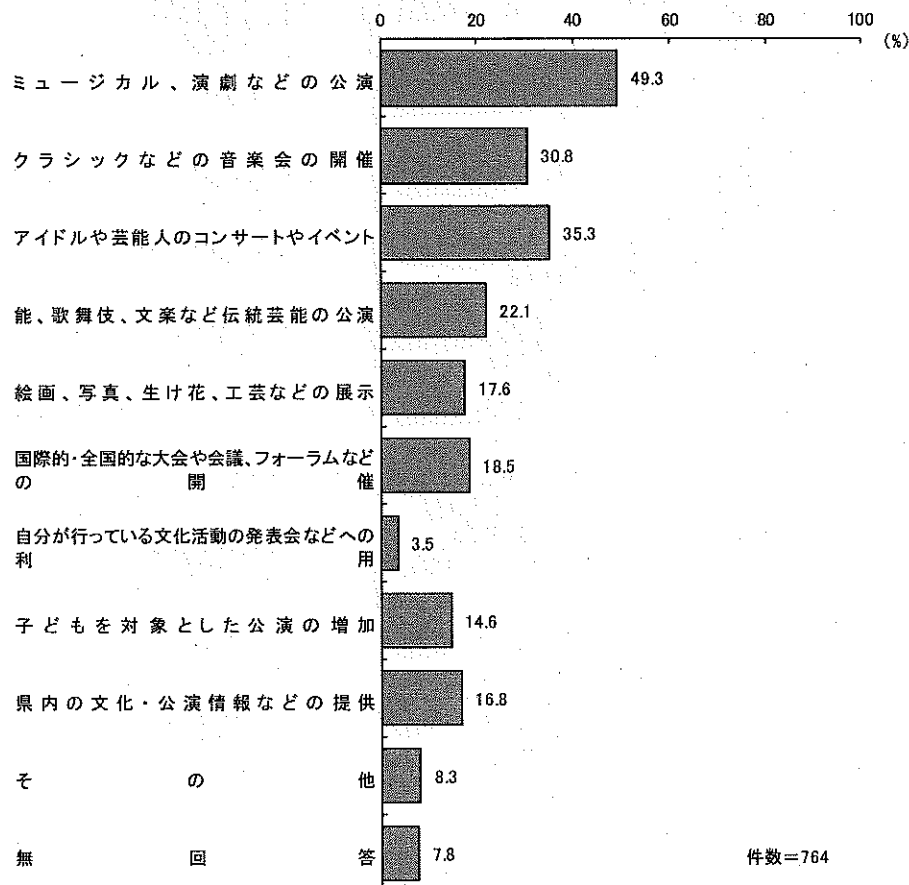


#### <全体>

グランシップに行った（利用した）ことがないと回答した人（374人）が利用しない理由の第1位は、「住んでいるところがグランシップから遠い」で61.8%、第2位は「イベントなどの開催情報が分からない」48.4%で、他の項目を大きく引き離している。

### 3-4 「グランシップ」への期待

問21 すべての方にお聞きします。あなたは、グランシップにどのようなこと(どういふことを行うべきか、どんな場になってほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-4-i 「グランシップ」への期待】

＜調査年度＞

(%)

【項目】	H18	H21	H24	H27
ミュージカル、演劇などの公演	36.7	42.1	44.6	49.3
クラシックなどの音楽会の開催	28.3	28.7	25.7	30.8
アイドルや芸能人のコンサートやイベント	-	-	-	35.3
能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演	19.2	18.8	22.2	22.1
絵画、写真、生け花、工芸などの展示	18.0	21.3	20.6	17.6
国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどの開催	17.9	21.0	21.9	18.5
自分が行っている文化活動の発表会などへの利用	3.7	4.0	3.5	3.5
子どもを対象とした公演の増加	0.0	17.8	18.7	14.6
県内の文化・公演情報などの提供	16.2	20.9	19.8	16.8
その他	3.9	7.9	9.9	8.3
無回答	8.7	16.3	9.5	7.8

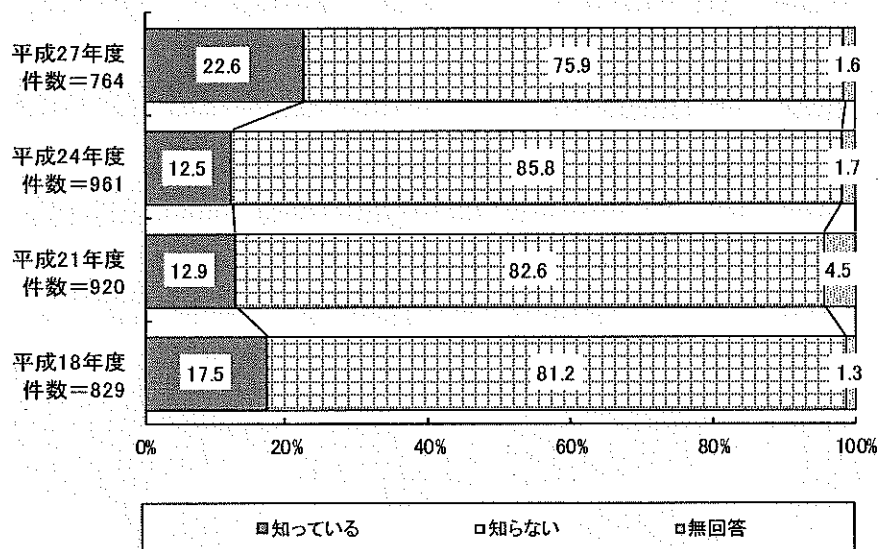
## ＜全体＞

グランシップへの期待内容の第1位は、「ミュージカル、演劇などの公演をしてほしい」で49.3%、次いで「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい」35.3%、「クラシックなどの音楽会を開催してほしい」30.8%、「能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演を開催してほしい」22.1%と続いている。

過去の調査と比較すると、「ミュージカル、演劇などの公演」は平成18年度以降、増加傾向で推移している。

### 3-5 「公益財団法人静岡県舞台芸術センター（以下、SPAC）」の認知度

問22 あなたは、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）をご存知ですか。



<全体>

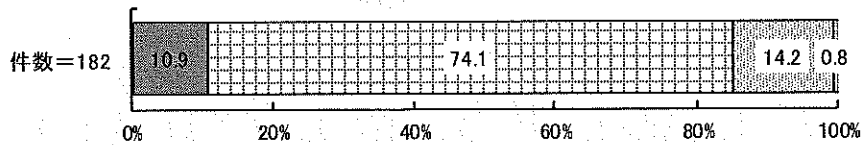
SPACを「知っている」は22.6%、「知らない」は75.9%となった。

過去の調査と比較すると、「知っている」の割合は平成24年度と比べて+10.1ポイント大きく増加している。



### 3-6 「SPAC」の鑑賞経験

問23 あなたは、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）の演劇を鑑賞したことがありますか。



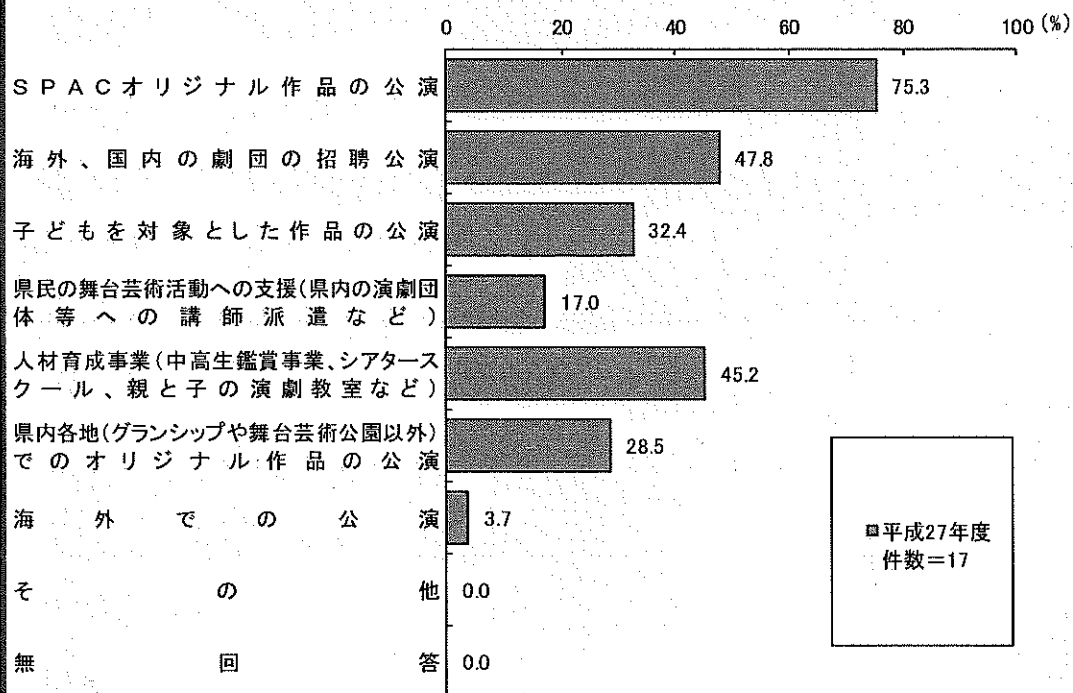
ある    ない    あるが、最近(過去3年間)は鑑賞していない    無回答

#### <全体>

SPACの演劇鑑賞経験については、「ある」は10.9%、「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は14.2%、「ない」は74.1%となった。

### 3-7 「SPAC」への期待

問24 問23で「1.ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、SPACにどのようなこと(どういうことを行うべきか、どんな場になってほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

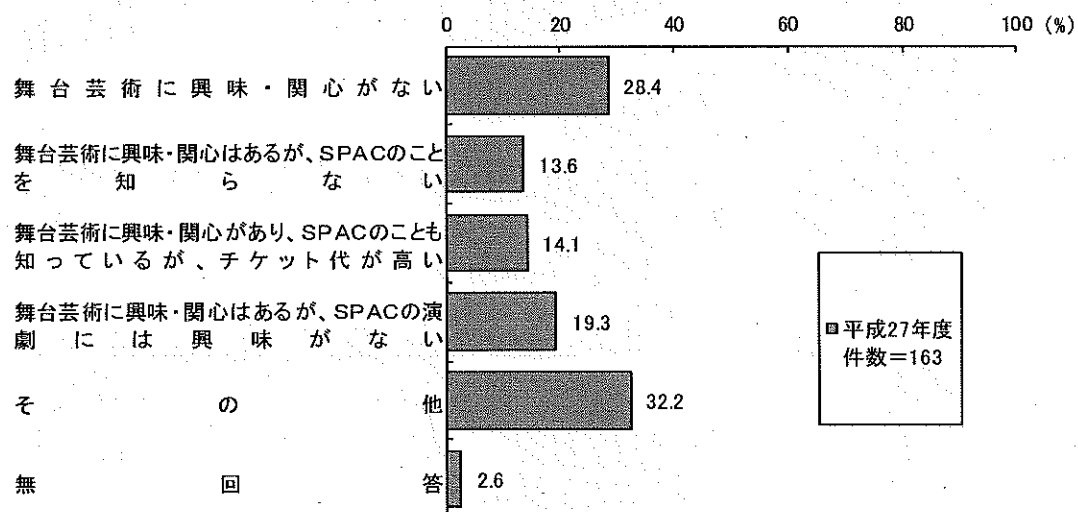


#### <全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがあると回答した人(17人)のSPACへの期待内容の第1位は、「SPACオリジナル作品の公演」で75.3%、次いで「海外、国内の劇団の招聘公演」47.8%、「人材育成事業(中高生鑑賞事業、シアタースクール、親と子の演劇教室など)」45.2%となっている。

### 3-8 「SPAC」を鑑賞しない理由

問25 問23で「2.ない」と回答された方及び、「3. 最近(過去3年間)鑑賞していない」方にお聞きます。  
鑑賞しない理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

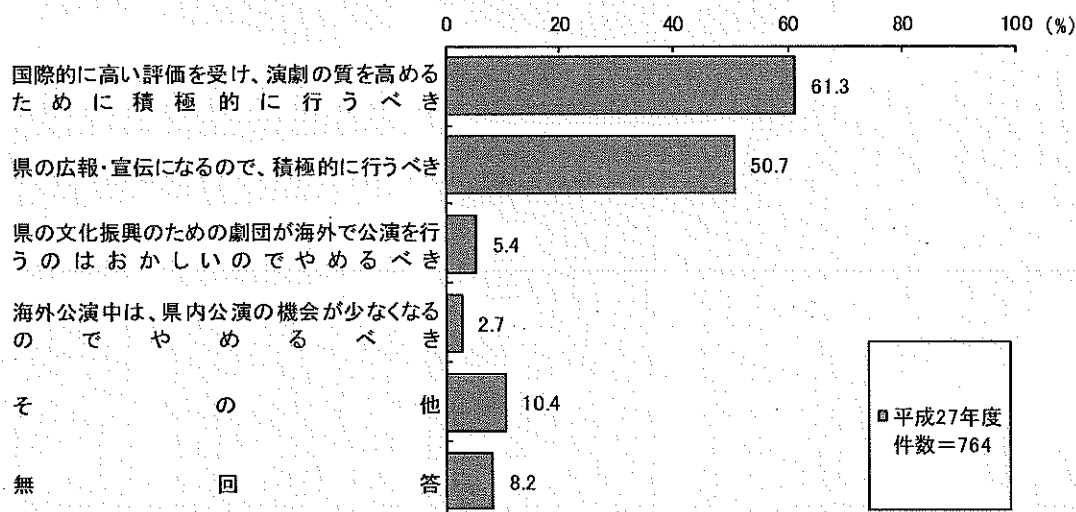


#### <全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがない、最近(過去3年間)鑑賞していないと回答した人(163人)の鑑賞しない理由の第1位は、「舞台芸術に興味・関心がない」で28.4%、第2位は「舞台芸術に興味・関心はあるが、SPACの演劇には興味がない」で19.3%となっている。なお「その他」は32.2%となっている。

### 3-9 「SPAC」海外公演への意見

問26 すべての方にお聞きます。SPACは設立以来、海外公演も行っており、平成26年度には世界最高峰の演劇祭であるフランスの「アビニョン演劇祭」に正式招聘されるなど、国際的に高い評価を受けていますが、SPACが海外公演を行うことをどのように思いますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

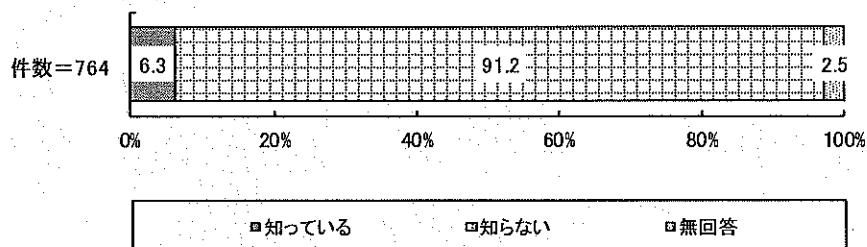


#### <全体>

SPACが海外公演を行うことをどのように思うかについては、「国際的に高い評価を受け、演劇の質を高めるために積極的に行うべき」が61.3%で最も高く、次いで「県の広報・宣伝になるので、積極的に行うべき」50.7%となっており、他の項目を大きく引き離している。

### 3-10 ふじのくに地球環境史ミュージアムの認知度

問27 あなたは、ふじのくに地球環境史ミュージアムをご存知ですか。



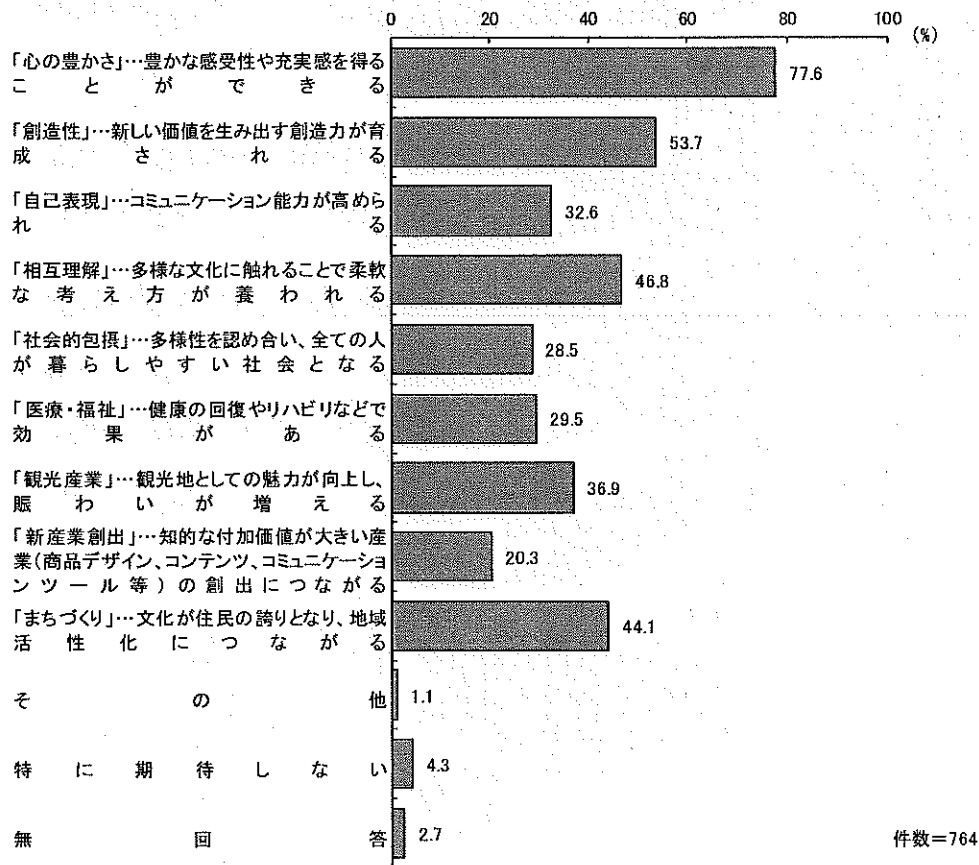
#### <全体>

ふじのくに地球環境史ミュージアムを「知っている」は6.3%、「知らない」は91.2%となった。

## 4 静岡県の文化振興について

### 4-1 文化に期待するもの

問28 次の中で、あなたが文化に期待するものは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-1-i 文化に期待するもの】

【項目】	<調査年度>			
	H18	H21	H24	H27
心の豊かさ	82.4	79.9	76.2	77.6
創造性	43.9	48.9	48.4	53.7
自己表現	26.1	34.1	33.5	32.6
相互理解	46.8	47.4	44.8	46.8
社会的包摂	-	-	-	28.5
医療・福祉	24.0	29.8	25.9	29.5
観光産業	27.0	34.6	39.9	36.9
新産業創出	13.5	16.2	19.6	20.3
まちづくり	45.4	49.2	48.9	44.1
その他	1.7	1.2	0.8	1.1
特に期待しない	2.7	2.5	4.1	4.3
無回答	1.0	2.2	1.1	2.7

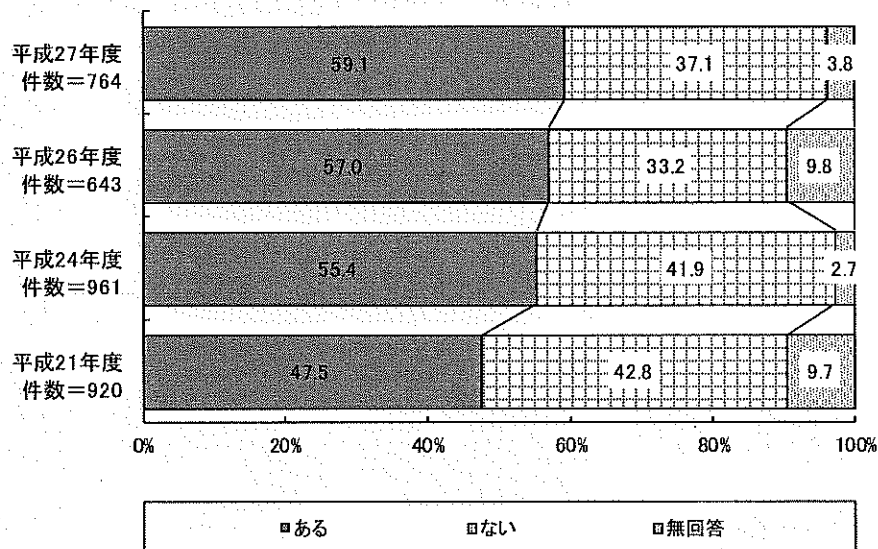
<全体>

文化に期待するものとして最も多いのは、『「心の豊かさ」…豊かな感受性や充実感を得ることができる』で77.6%と7割を超えている。次いで、『「創造性」…新しい価値を生み出す創造力が育成される』が53.7%、『「相互理解」…多様な文化に触れることで柔軟な考え方が養われる』(46.8%)、『「まちづくり」…文化が住民の誇りとなり、地域活性化につながる』(44.1%)の順となっている。

過去の調査と比較すると「創造性」、「新産業創出」が増加傾向で推移している。

## 4-2 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無

問29 あなたのお住まいの地域には、あなた自身が誇りに思う、よその地域の方に紹介したくなる文化資源(独特の文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など)がありますか。



### <全体>

現在、住んでいる地域に文化資源(特色ある文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など)が「ある」と回答した割合は59.1%で、「ない」と回答した割合は37.1%であった。

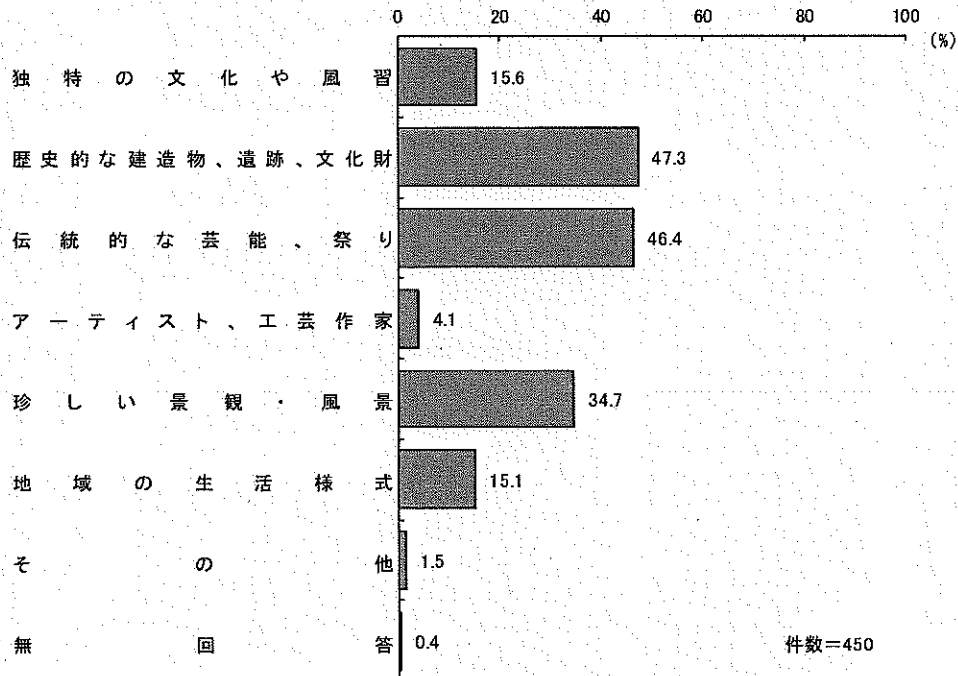
過去の調査と比較すると、「ある」と回答した割合は前回の57.0%から2.1ポイント高くなっている。



### 4-3 地域の誇りだと感じられる文化資源

問30 問29で「1. ある」と回答された方にお聞きます。それはどのようなものですか。

次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-3-i 地域の誇りだと感じられる文化資源】

【項目】	＜調査年度＞				(%)
	H21	H24	H26	H27	
独特の文化や風習	27.7	23.9	17.6	15.6	
歴史的な建造物、遺跡、文化財	65.2	64.9	80.0	47.3	
伝統的な芸能、祭り	-	-	13.2	46.4	
アーティスト、工芸作家	4.8	8.3	4.3	4.1	
珍しい景観・風景	35.5	39.2	35.5	34.7	
地域の生活様式	16.0	15.7	10.7	15.1	
その他	4.1	5.9	2.4	1.5	
無回答	0.5	1.1	0.0	0.4	

#### ＜全体＞

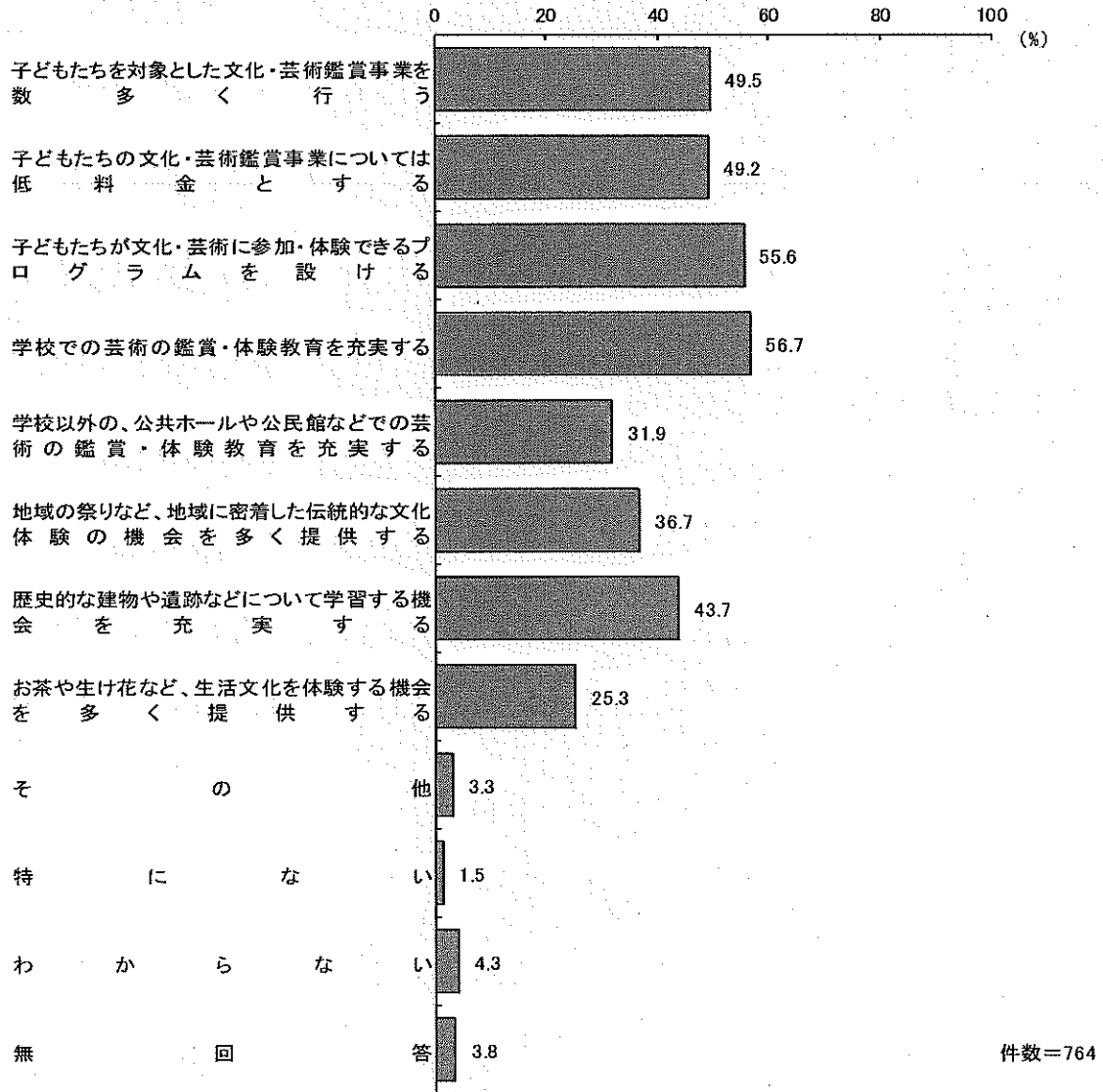
地域の誇れる文化が「ある」と回答した人（450人）の第1位は「歴史的な建造物、遺跡、文化財」の47.3%となっており、僅差で「伝統的な芸能、祭り」の46.4%が続いている。次いで「珍しい景観・風景」の34.7%となっている。

過去の調査と比較すると「独特の文化や風習」は、減少傾向で推移している。「歴史的な建造物、遺跡、文化財」は平成26年度の80.0%から32.7ポイントと大きく下回っている。

#### 4-4 文化・芸術の子どもへの提供

問31 県では、子どもの頃に様々な文化・芸術に触れる機会の充実を図ることを、重点施策の1つに挙げています。あなたは、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。

【図4-4-1 文化・芸術の子どもへの提供】



【項目】	＜調査年度＞		
	H21	H24	H27
子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う	42.2	42.0	49.5
子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする	42.3	38.9	49.2
子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける	67.8	69.4	55.6
学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する	57.3	61.1	56.7
学校以外の、公共ホールや公民館などでの芸術の鑑賞・体験教育を充実する	-	-	31.9
地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する	47.0	43.1	36.7
歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する	40.2	42.8	43.7
お茶や生け花など、生活文化を体験する機会を多く提供する	-	-	25.3
その他	1.8	2.8	3.3
特になし	1.4	1.9	1.5
わからない	3.4	3.2	4.3
無回答	2.9	0.8	3.8

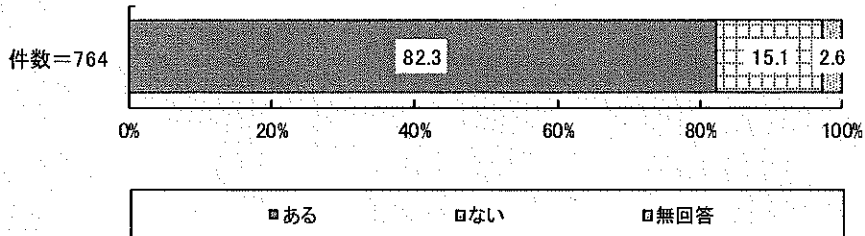
#### ＜全体＞

子供達が文化・芸術に親しむために、県や市町に期待する第1位は「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」が56.7%、次いで「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」が55.6%、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」が49.5%となっている。

過去の調査と比較すると、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」、「子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする」は平成26年度より大きく割合が増加している。

#### 4-5 災害発生後の文化の役割の有無

問32 あなたは、災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割があると考えますか。



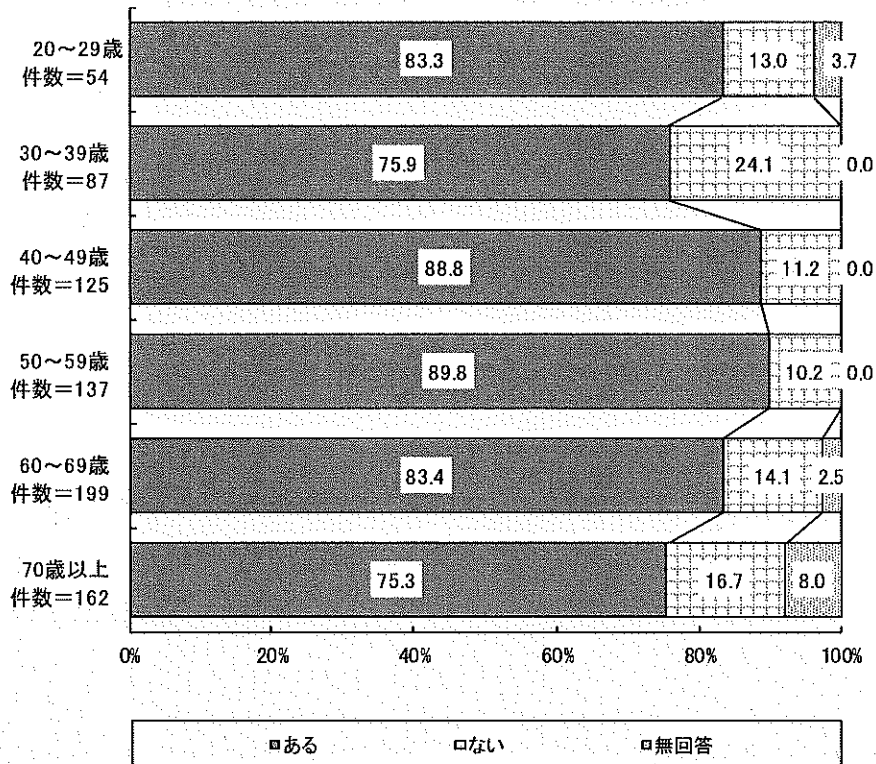
##### <全体>

災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した割合は82.3%で、「ない」と回答した割合は15.1%であった。

##### <年代別>

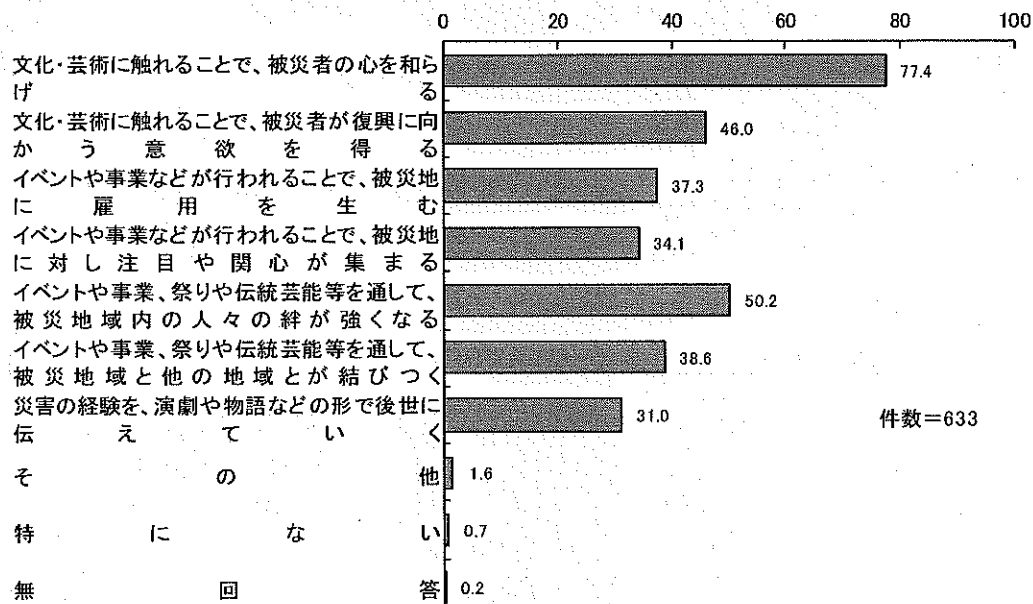
いずれの年代でも「ある」が大半を占めている。特に40歳代、50歳代はそれぞれ88.8%、89.8%で約9割となり、他の年代を上回っている。一方、30歳代は「ない」と回答した割合が24.1%となり、他の年代よりも比較的高くなっている。

【図4-5-i 年代別 災害発生後の文化の役割の有無】



## 4-6 災害発生後の文化の役割

問33 問32で「1. ある」と回答された方にお聞きます。文化・芸術は、どのような役割を果たすと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。

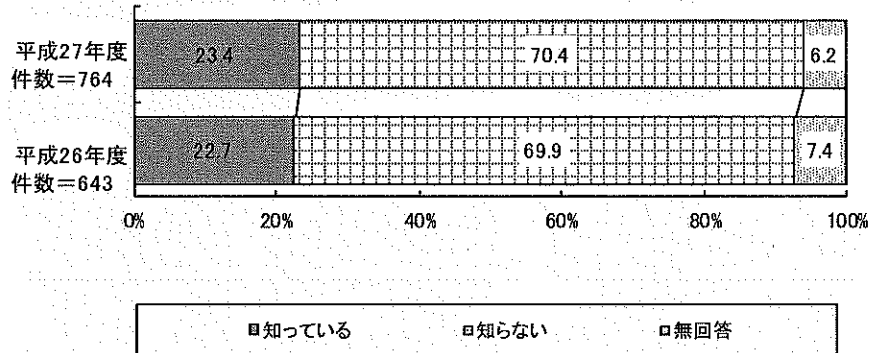


### <全体>

災害（地震、津波、水害等）発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した人（633人）の第1位は、「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」の77.4%で他を圧倒している。次いで「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地内の人々の絆が強くなる」の50.2%、「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」の46.0%となっている。

## 4-7 オリンピック・パラリンピック「文化プログラム」の認知度

問34 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックは、スポーツのイメージが強い祭典ですが、同時に、文化の祭典として各地域で様々な文化イベントが行われていることを知っていますか。

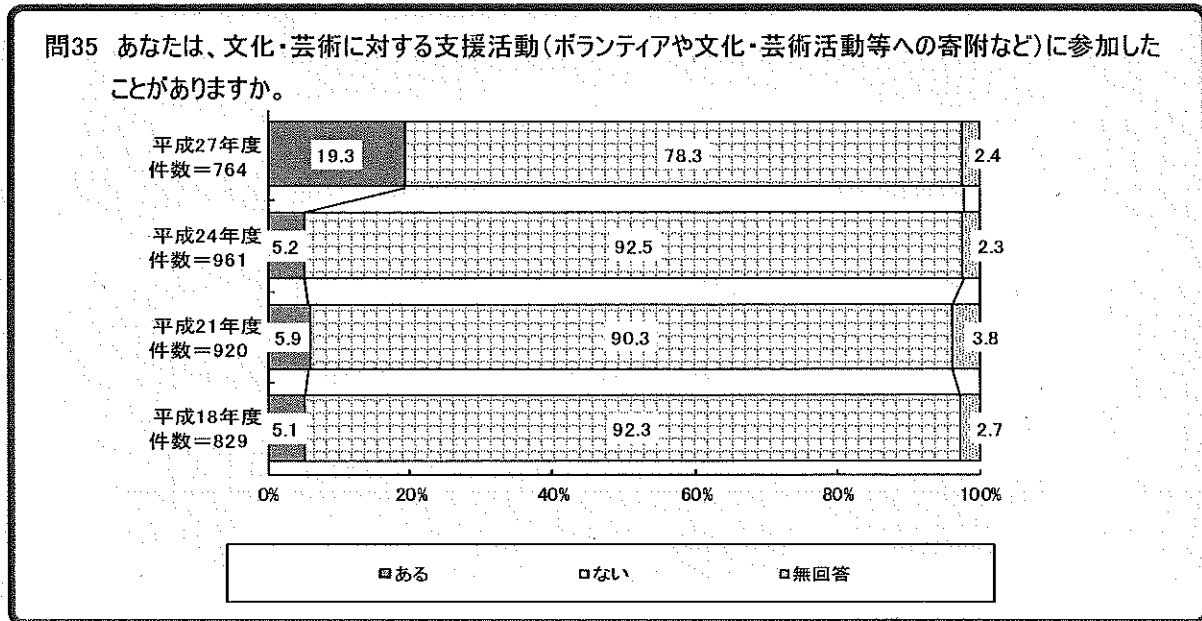


### <全体>

2020年東京オリンピック開催の際に、各地域で様々な文化イベントが行われることへの認知については、「知っている」が23.4%、「知らない」が70.4%で、認知度は3割を下回っている。

過去の調査との比較では、あまり大きな違いは見られない。

## 4-8 支援活動参加の有無



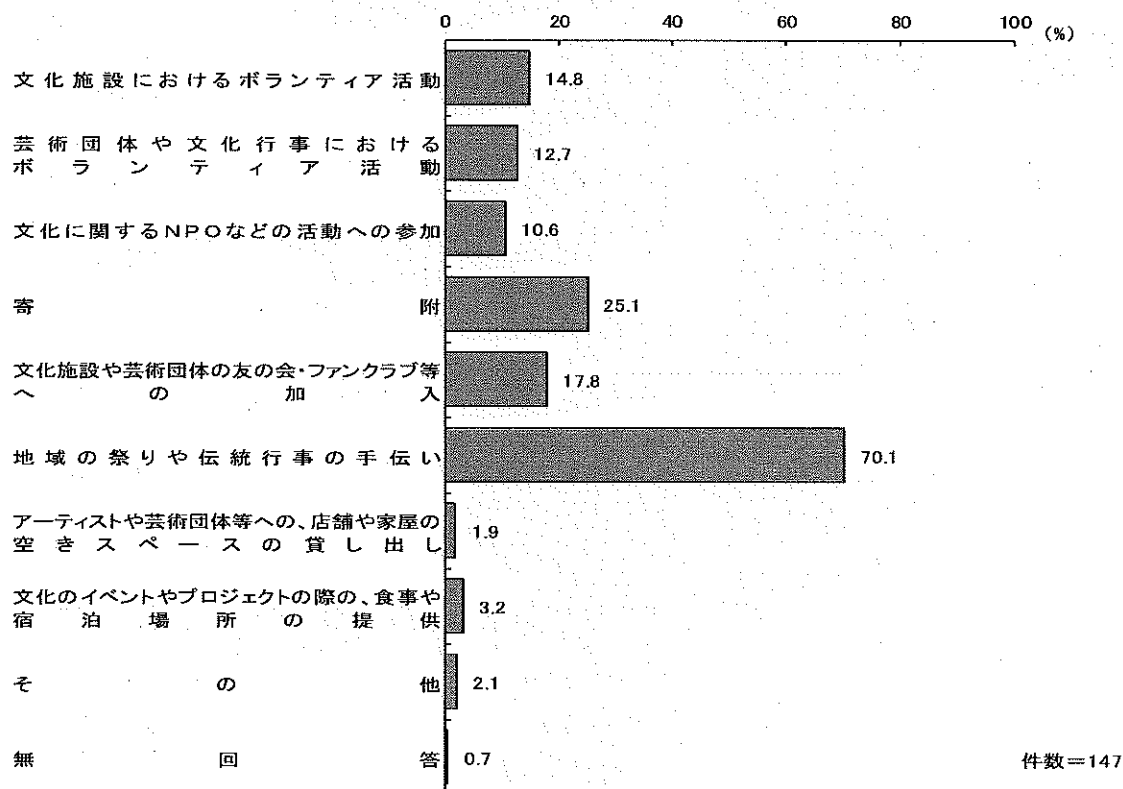
### <全体>

文化・芸術に対する支援活動（文化ボランティアや文化・芸術活動等への寄附など）に参加したことが「ある」は19.3%、「ない」は78.3%となった。

過去の調査との比較では、「ある」が大幅に増加し、平成24年度の約4倍となっている。

#### 4-9 支援活動の内容

問36 問35で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたが参加した文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-9-i 支援活動の内容】

【項目】	＜調査年度＞			
	H18	H21	H24	H27
文化施設におけるボランティア活動	28.6	33.3	29.5	14.8
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	38.1	22.2	18.5	12.7
文化に関するNPOなどの活動への参加	14.3	13.0	17.1	10.6
寄附	28.6	31.5	31.3	25.1
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	0.0	35.2	35.4	17.8
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	-	70.1
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	-	1.9
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	-	3.2
その他	0.0	9.3	6.0	2.1
無回答	4.8	0.0	1.4	0.7

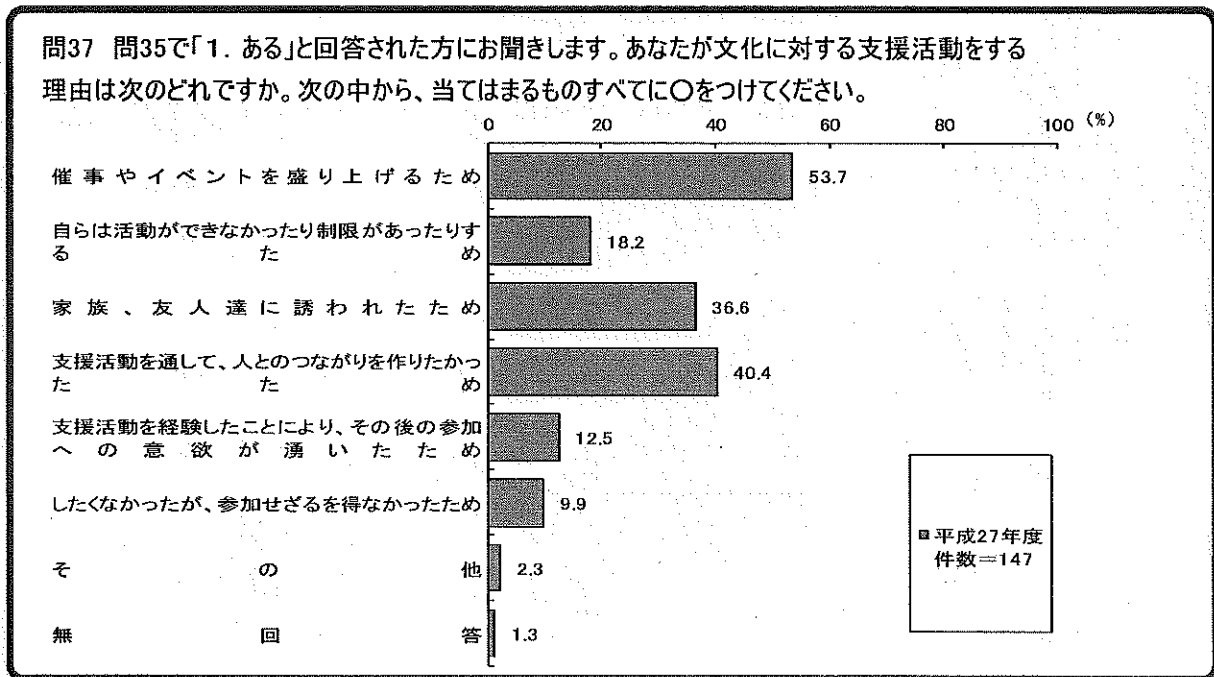


### <全体>

文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人（147人）の活動内容の第1位は「地域の祭りや伝統行事の手伝い」で70.1%と圧倒的に高い。次いで「寄附（チケット代金以外の資金の提供）」が25.1%、「文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入」が17.8%となっている。

過去の調査と比較すると、「芸術団体や文化行事におけるボランティア活動」は平成18年度から、「文化施設におけるボランティア活動」、「寄附」、「その他」は平成21年度から減少傾向で推移している。

#### 4-10 支援活動参加理由

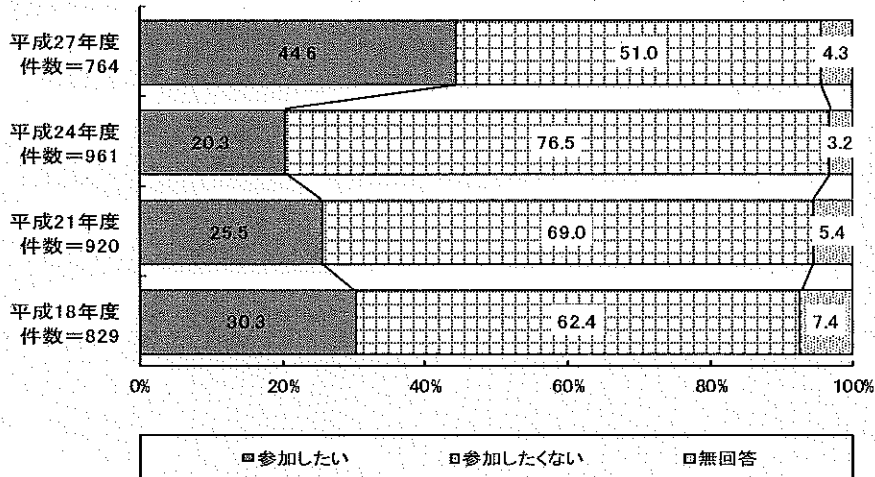


#### <全体>

文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人（147人）の参加理由の第1位は、「催事やイベントを盛り上げるため」で53.7%、次いで「支援活動を通して、人とのつながりを作りたいため」が40.4%、「家族、友人達に誘われたため」が36.6%と続いている。

#### 4-11 支援活動参加希望の有無

問38 すべての方にお聞きます。あなたは、今後、文化・芸術に対する支援活動(ボランティア)に参加したいと思いませんか。



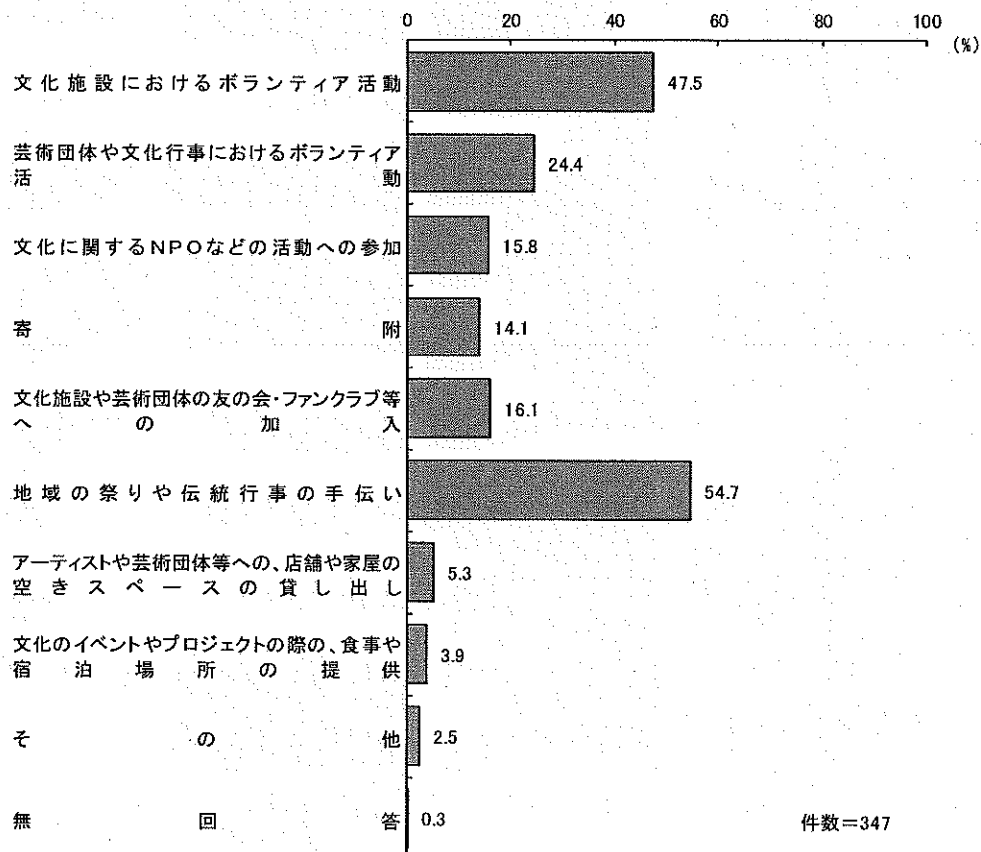
#### <全体>

今後、文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」は、44.6%と半数に近い割合で、「参加したくない」は51.0%となった。

過去の調査と比較すると、平成24年度の20.3%に比べ「参加したい」とする割合は大きく増加した。

## 4-12 参加したい支援活動

問39 問38で「1. 参加したい」と回答された方にお聞きします。あなたが参加したい文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-12-i 参加したい支援活動】

【項目】	<調査年度>		
	H21	H24	H27
文化施設におけるボランティア活動	61.7	51.9	47.5
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	31.5	33.3	24.4
文化に関するNPOなどの活動への参加	27.2	21.2	15.8
寄附	11.1	13.4	14.1
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	17.9	22.2	16.1
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	54.7
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	5.3
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	3.9
その他	3.4	3.9	2.5
無回答	3.0	5.5	0.3

#### <全体>

文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」と回答した人（347人）の活動内容の第1位は、今年から新規に追加した「地域の祭りや伝統行事の手伝い」で54.7%、次いで「文化施設におけるボランティア活動」が47.5%、「芸術団体や文化行事におけるボランティア活動」が24.4%の順となった。

過去の調査と比較すると、「文化施設におけるボランティア活動」が平成 21 年度（61.7%）、平成 24 年度（51.9%）において最も高かったが、平成 27 年度にかけては減少傾向にある。

---

平成27年度

文化に関する意識調査（概要版）

発行 静岡県文化・観光部文化政策課  
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号  
TEL <054> 221-2252

---